

QUACKENBOS'S
FIRST BOOK
IN
GRAMMAR

齋藤八郎譯

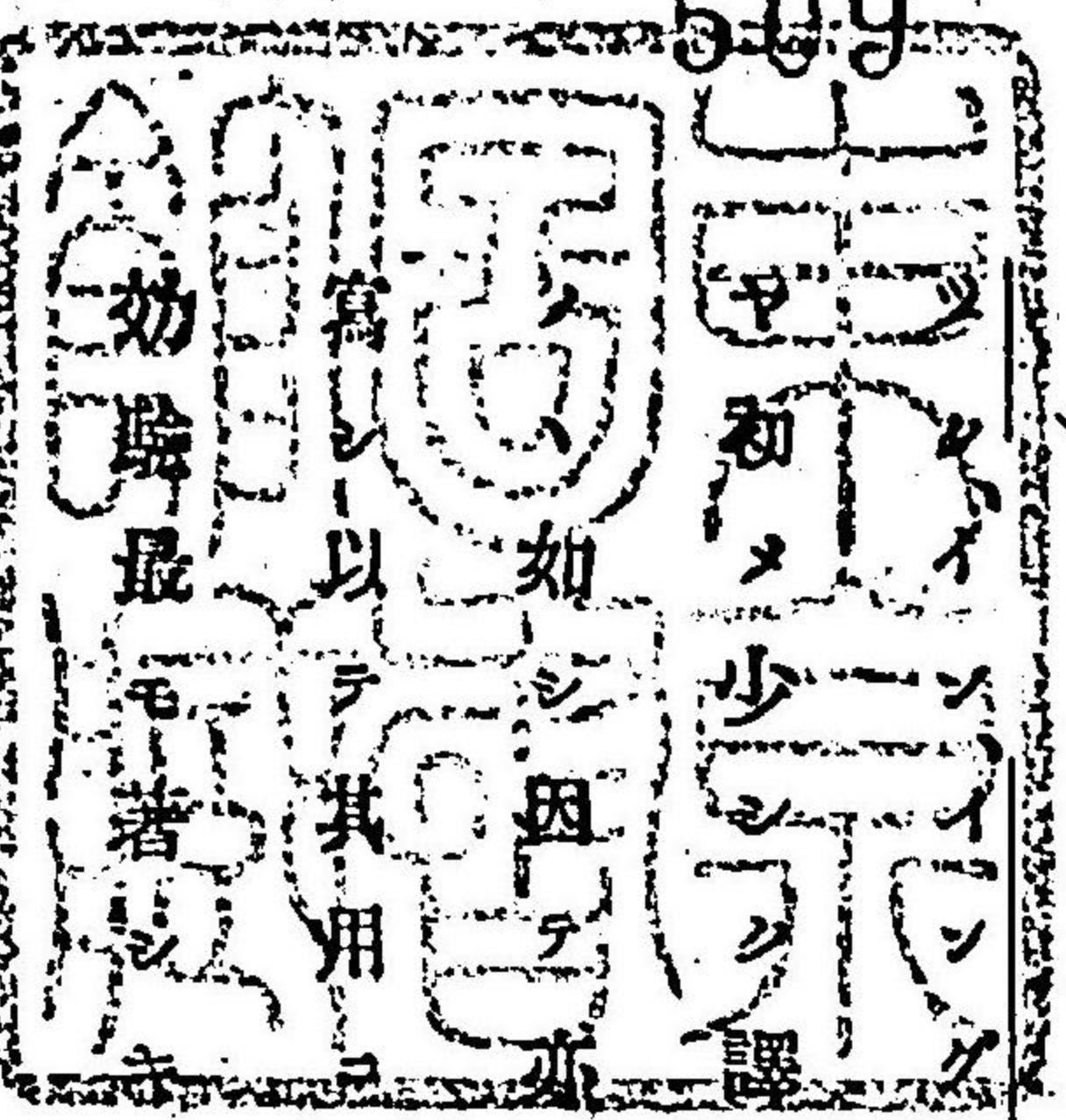
クワッケン
ボスの

英文典直譯全

東京書肆 松成堂發兌

No 6895

特27
509



緒言

此書米國人格賢勃斯氏ノ所著ニシテ原名ヲフアースト、

リス、グランマー、ト曰フ抑モ予ガ此舉アル

シテ之ヲ初學ニ試ムルニ大ニ裨益アルモ

止マス其全備スルニ及ビ請フモノアレハ

供セリ而シテ餘暇獨修ノ徒ニ至リテハ其

モノアリ頃者書肆某氏來リ予ニ謂テ曰ン

此ノ如キ要帙ヲシテ何ソ其レ篋底ニ沈マシムルヲ爲ス若

カス李棗ヲ災シ以テ世ニ公ニセシニハト予應シテ曰ク今

ヤ世既ニ此類ノ多キ密ニ汗牛充棟ノミナラス且此ノ如キ



拙譯不文何ソノ取ルトコロカアラント氏亦曰ク然ラス假令此類ノ多キ汗牛充棟管ナラザルモ當今洋學ノ盛ンナル之ヲ講習スル者ノ多キニ比スレハ之ヲ尙ホ足ラスト爲ス況ンヤ其体裁各々異ナルモノアルチヤト是ニ於テ乎決意以テ氏ニ附シテ刊行ス而シテ此書本ト初學チシテ句讀ヲ習ハシムルニ過キササルチ以テ疑問文及演習文等ノ如キニ至ツテハ略シテ之ヲ譯セス看官其レ之ヲ諒セヨ設シ之ヲ購得レ以テ研究スルモノアラハ大ニ其修學ノ津筏トナラソカ

ボウケグズ
ボスズ氏 英文典直譯

東京 齋藤桂堂 譯

文法ニ於テ第一ノ書籍

第一課

雜草ガ速ニ成長スル

- 上ノ詞ヲ探返セ○彼等ハ何ニチ造リナス乎●文章チ
- 余輩ガ何故ニ此ノ文章チ用ヒ爲ス乎●オモヒカンガハ思考チ言出ス爲メニ
- 文章ハ何カラ組成セラル、乎●各々が思想ノ徵ナル三ツノ言カラ
- 是等ノ詞ハ何ニチ余輩ニ告ケ爲ス乎●*Words* ハ何ニチ付テ話サル、カチ余輩ニ告ゲル
- Grow* ハ草ガ何ニチ爲スカチ余輩ニ告ゲル
- Rapidly* ハ草カ如何ニ成長スルカチ余輩ニ告ゲル
- 然ラバ余輩ガ余輩ノ思考チ言顯ス爲メニ何ニチ用ヒ爲ス乎●文

○文章ハ何ニカラ組成セラル、乎●思考ノ徵デアル所ノ詞カラ

第二課

○詞ハ何ンデアアル乎●詞ハ思念ノ徵デアル○set云フ詞ハ凍リタル水ニ代ル所ノ徵デアル

○書カル、キニ何ニカラ詞ハ組成セラル、乎●文字カラ○set云フ詞ハ三ツノ文字カラ組成セラル、

○各々ノ文字ハ何ニ代リナス乎●話スニ於テ用ヒラレタル聲ノ音ニ

○英吉利ニ於テ幾許ノ文字ガ其處ニアル乎●二十六文字 a, b, c, d, e, f, g, h, i, j, k, l, m, n, o, p, q, r, s, t, u, v, w, x, y, z.

○是等ノ文字ガ何ニ形造リナス乎●Alphabet.
○綴ルコトハ何ンデアアル乎 綴ルコトハ詞ヲ造ル爲ニ文字ヲ正シシ一緒ニ置クコトデアル

第三課

○Carト云フ詞ヲ發音セヨ○Carpetヲ發音セヨ○carpetingヲ發音セヨ
○此等ノ詞ヲ發音スルコトニ於テ如何ナル異ガ目付ラレ得ル乎

Carハ聲ノ一ツノ發動ヲ以テ發音サル、○Carpetハ二ツノ發動ヲ要スル carpeting, ハ三ツノ發動ヲ

○聲ノ一ツノ發動ヲ以テ發音サル、所ノ其レヲ何ニト余輩ガ名付ケナス乎●熟音

○一ツノ熟音ノ言ハ何ニト名付ラル、乎●一熟音ト譬ハ彼レ
○二ツノ熟音ノ言ハ何ニト名付ラル、乎●二熟音ト譬ハ勇者

○三ツノ熟音ノ言ハ何ニト名付ラル、乎●三熟音ト譬ハ勇者ノ
○三ツヨリ多クノ熟音ノ言ハ何ニト名付ラル、乎●數熟音ト譬ハ勇

猛ノ勇猛

第四課

- 英吉利ノ *alphabet* = 於テ幾許ノ文字ガアル乎 ○此等ハ如何ニ分ケラ
ル、乎 ●母韻及ヒ子韻ナルニツノ種類ニマデ
- 母韻ハ何ンデアル乎 ●母韻ハ舌或ハ唇カラ障リナシニ自由ニ發聲
サレ得ル所ノ文字デアル、譬ハ *ea, oi, ou*
- 子韻ハ何ンデアル乎 ●子韻ハ自由ニ發聲サレ得ヌ、然シナガラ舌、或
ハ唇ニ因テ多少障ラル、所ノ文字デアル、譬ハ *ba, ca, da, fa, ga, ha, ja, ka,*
la, ma, na, pa, qa, ra, sa, ta, va, wa,
- va* 及ヒ *va* ハ母韻、或ハ子韻デアル乎 ●*va* 及ヒ *va* ハ彼等ガ同シ熟音ノ
中ニ發音サレタル母韻ノ前ニ來ル *h* ニ子韻デアル、譬ハ *va* 濕タル、*va*
ランコ、*va* 報ヒ、*va* 荷ホ、*va* 弛メル ○總テノ他ノ場合ニ於テ、彼等ガ母韻デアル
譬ハ新シキ、歸スル、因テ、裸麥、新タコ

第五課

- 母韻チ名ザセ *ea, oi, ou*、而シテ彼等ガ同シ熟音ノ中ニ發音サレタ
ル母韻ニ先マナナサヌキニハミ及ヒ *ea, oi, ou*
- 幾許ノ母韻ガ時トシテ一ツノ熟音ノ中ニ結合サル、乎 ●二ツ、或ハ
加之ナラズ三ツ
- 二重韻ハ何ンデアル乎 ●二重韻ハ一ツノ熟音ノ中ニ二ツノ母韻ノ
結合デアル *eat, oil, ous*、ニ於テノ *ea, oi, ou*、ニ於テノ *ea, oi, ou*、ノ如シ
- 三重韻ハ何ンデアル乎 ●三重韻ハ一ツノ熟音ノ中ニ三ツノ母韻ノ
結合デアル *bean, ous, ous*、ニ於テノ *ea, oi, ou*、ノ如シ
- 結尾ノ文字ハ何ンデアル乎 ●結尾ノ文字ハ詞ヲ畢ル所ノモノデア
ル *eat, ous, ous*、ニ於テノ *ea, oi, ou*、ノ如シ

○無聲ノ文字ハ何ンデアアル乎 ●無聲ノ文字ハ發音サレヌモノデアアル
 iceニ於テ、gはgnaw, 於テ、wはwalk, 於テ、wはwrong.ニ於テ無
 聲デアアル

第六課

- 國語ノ最モ單純ナル元素ハ何ンデアアル乎 ●話スコニ於テ用ヒラレ
 タル聲ノ單純ナル發音ニ代ル所ノ文字デアアル
- 文字ハ何ニ於テ結合サル、乎 ●聲ノ一ツノ發動ニ因テ發聲サレ
 タル音ヲ顯ハス所ノ熟音ニ於テ
- 熟音ハ何ニ於テ結合サル、乎 ●思想ノ徴デアアル所ノ詞ニ於テ
- 詞ハ何ニ於テ結合サル、乎 ●思考ヲ言出ス所ノ文章ニ於テ
- 文法ハ何ニ於テ余輩ニ教ヘナス乎 ●文法ハ思考ヲ正シク言出ス爲メ
 ニ詞ヲ文章ノ中ニ如何ニ一緒ニ置クベキ乎ヲ余輩ニ教フル

第七課

- 文章ヲ造ルコトニ於テ、何ニ於テ余輩ガ用ユ可ク持チナス乎 各異ノ思
 想ヲ言出シツ、詞ノ各異ノ種類ヲ
- 然レナガラ見ニ彼ハ蔭リタル樹ノ下ニ徐カニ歩ミツ、アルナル
 文章ニ於テ此レヲ視セヨ ●余輩ガ或ル物體ノ名トシテtreesト云フ
 詞ヲ用ユル
- 余輩ガ樹ノ如何ナル種類ガ意味サル、乎ヲ告グル爲メニtrees, 表
 ス爲メニshadyヲ用ユル
- 余輩ガ或ル特異ナル樹ヲ指シ示ス爲メニtheヲ用ユル
- 余輩ガ人ノ名ノ代リニtheヲ用ユ、James Johnガ歩ミツ、アルノ代リ
 ニ余輩ガ云フ彼ガ歩ミツ、アルト
- 余輩ガ何ニ於テ彼レガナシツ、アル乎ヲ告グル爲メニ働ラキヲ極メ
 ル爲メニis walkingヲ用ユル
- 余輩ガis walking 及ヒtreesトノ間ノ關係ヲ視ス爲メニunderト云フ

詞ヲ用ユ、樹ノ上[○]或ハ樹カラ[○]デハナク、然シナガラ樹ノ下[○]ニト云フ
關係ヲ視ス爲メニ *under* チ用ユル

余輩カ如何ニ彼レガ歩ミツ、アル乎チ告グル爲メニ *slowly* チ用ユ
ル余輩ガ注意チ呼フ爲メニ *see* チ用ユル

余輩カ前ニ進ミツ、或物ト文章ヲ結合スル爲メニ *but* チ用ユル

○詞ノ幾許ノ各異ノ種類チ余輩ガ箇様コシテ見出シタ乎 九ツ、各ガ
各異ノ役チ爲シテ

○詞ノ是等ノ九ツノ種類カ何ント名付ラル、乎
言語ノ部分

第八課

○言語ノ幾許ノ部分カ其處ニアル乎
九ツ

○彼等チ名ザセ

名詞、代名詞、冠詞、形容詞、動詞、副詞、前置詞、接續詞及ヒ間投詞

○言語ノ第一ノ部ハ何ンデアル乎

名詞

○名詞ハ何ンデアル乎

名詞ハ名トシテ用ヒテレタル詞デアル

○例チ與ヘヨ

人ノ名ハ名詞デアル、譬ヘハ *Adam*、*Pinchotriya*、ゼチラル、*テール*、*博
士* *Binshayamin*、*フランクリン*、

國、都府、府、川、山、等ノ名ハ名詞デアル、例ハ *スコットランド*、*ニウヨーク*、

ミッソリー川、*ロッキイ山*、*大西洋*

見ラレ、聞カレ、知覺サレ、嗅カレ、及ビ味ハレ能フ所ノ物ノ名ハ名詞デ
アル、例ヘハ *人*、*雷*、*熱*、*薔薇*、*砂糖*

見ラレヌ、等、然シナガラ唯就テ考ヘラル、所ノ物ノ名ハ名詞デアル、

例へハ、梅、死、幸福、堪忍、天才

第九課

○名詞ノ幾許ノ種類ガ其處ニアル乎

普通及ヒ固有ナルニツ

○普通名詞ハ何ンデアル乎

普通名詞ハ同シ種類ノ總テノ物體ニ用ヒラレ能フ所ノ名デアル例
へハ、兒童、國、島、犬

○固有名詞ハ何ンデアル乎

固有名詞ハ同シ種類ノ總テノ他ノモノニ用ヒラレ能ハヌ所ノ一個
ノ物體ノ名デアリチヤルド、ベーリニ、アイルランド、カルロー、

○國民ノ名ハ名詞ノ如何ナル種類デアル乎

國民ノ名ハ固有名詞デアル、獨乙人ノ如シ

○固有名詞ハ常ニ如何ニ始マラチハナラヌ乎

頭字ヲ以テ○上ノ例ヲ見ヨ

第十課

ゼームスナル余レハ行クヲ約束スル

ゼームスヨ行クヲ約束シナスカ

ゼームスガ行クヲ約束セシ

○ゼームスハ是等ノ三ツノ文章ニ於テ如何ニ代用サル、乎

第一ノ文章ニ於テゼームスハ話ストシテ、第二ニ於テ話シカケラ
ル、トシテ、第三ニ於テハ風評サル、トシテ代用サル、

○分解スルヲニ於テ、余輩ガ如何ニ此等ノ文章ニ於テゼームスト云フ
名詞ヲ區別シナス乎

第一ノ文章ニ於テ、余輩ガゼームスハ第一人稱ニ於テアルヲ云フ、
第二ノ文章ニ於テハ其レガ第二人稱ニ於テアル、第三ノ文章ニ於テ
ハ第三人稱ニ於テアル

○然ラハ、幾許ノ人稱ガ其處ニアル乎

三ツ、第一人稱、第二人稱及ヒ第三人稱

○是等ノ三ツノ人稱ガ何チ見ハシナス乎

第一人稱ハ話ス人チ見ハス、第二人稱ハ話シカケラル、者、第三人稱

ハ風評サル、者チ見ハス

○名詞ハ其レノ人稱チ其レノ形ニテ視シナス乎

否ラズ、其レノ形ハ總テ三ツノ人稱ニ於テ同シモノデアル

○文章ニ於テ顯ハル、所ノ最モ多クノ名詞ガ如何ナル人稱ニ於テア

ル乎

第三人稱ニ於テ、如何ントナレバ彼等ハ風評サル、所ノ事物チ見ハ

ス故ニ

第十一課

一年

二年 五年 十年 一千年

○是等ノ言顯シニ於テ何が目付ケラレネバナラヌ乎

一ツガ風評サル、キニ years ト云フ言ガ用ヒラル、一ツヨリ多キ

ニハ、形チガ years. ニマデ變ズル

○分解スルコトニ於テ、余輩ガ year 及ヒ years チ如何ニ區別シナス乎 ●余

輩ガ year ハ單數ニ於テアル、而シテ years ハ複數ニ於テアルコト云フ

○幾許ノ數ガ其處ニアル乎

單數及ヒ複數ノ二ツ

彼等ハ何ニチ見ハシナス乎

單數ハ一ツチ見ハス、複數ハ一ツヨリ多クチ

名詞ハ其レノ數チ其レノ形チニテ視シナス乎

一般ニ最モ多クノ名詞ハ複數ニ於テ彼等ノ形チ變ズル ○箇様ニ

單數 年、シヤガ、タイモ、人、小兒

複數 年、シヤガタイモ、人、小兒

第十二課

○最モ多クノ名詞ガ如何ニ彼等ノ複數ヲ形造リナス乎

最モ多クノ名詞ハ單數ニ^スチ加ヘル^トニ因テ彼等ノ複數ヲ形造ル、
帽子、全上、倭人、全上、ホト、ギス、全上、ケート、全上、ノ如シ

○如何ナル名詞ガ^ニチ加ヘル^トニ因テ彼等ノ複數ヲ形造リ
ナス乎

次ノ如ク畢ル名詞ハ^ニチ加ヘル^トニ因テ彼等ノ複數ヲ形造ル

第一、^ニノ如ク發聲サレヌ^ニ於テ、松明、全上ノ如シ

第二、^ニ及ビ^ニ於テ、瓦斯、全上、切レ口、全上ノ如シ

第三、^ニ及ビ^ニ於テ、運上、全上、舞名、全上ノ如シ

第四、子韻ニ因テ先ダ、レタル^ニ。或ハ^ニ於テ、アルカリ、全上、積荷、
全上、獸名、全上ノ如シ

○子韻ニ因テ先ダ、レタルニ於テ畢ルル名詞ハ、複數ヲ形造ル爲^ニ

ニ、唯^ニチト^リ爲ス乎

僅カ詩句、全上、洞、全上、暈、全上、遊廊、全上、音樂ノ名、全上、初進ノ人、全上ノ
如シ

○^ニ於テ畢リタル通常ノ名詞ハ、如何ニ複數ヲ形造リナス乎

第一、結尾ノ^ニガ母韻ニ因テ先キダタル、ナラバ、彼等ガ單^ニニ^スチ附

加ヘル^ル、谷、全上ノ如シ

第二、結尾ノ^ニカ子韻ニ因テ先キダタル、ナラバ、彼等ガ其レ^ニチ^ニ

ニ變ズル、蠅、全上ノ如シ

○^ニ及ビ^ニ於テ畢リ、複數ニ於テ^ニ是等ノ文字ヲ變ズル所ノ十五

ノ名詞ヲ舉ゲヨ

牛肉、牛、菜、全上、把、全上、盜賊、全上、蒸餅塊、全上、小牛、全上、半、全上、鬼、
全上、自己、全上、棚、全上、狼、全上、生命、全上、刀、全上、妻、全上、波戶場、全

上、全上

第十三課

○彼等ノ複數ニ於テ全ク不規則ナル或ル名詞ヲ舉ゲヨ
次ノ名詞ガ全ク不規則デアル

單數	複數	單數	複數
小兒	全上	風	全上
足	全上	鼠	全上
雁	全上	人	全上
牛	全上	女	全上
齒	全上		

○是等ノ詞ノ如何ナル組立ガ彼等ノ複數ヲ同一ニ形造ル乎
是等ノ詞ガ終リニ立ッ所ノ組立ガ同一ニ彼等ノ複數ヲ形造ル、
孫、同上、火消、同上、如レ

○規則並ビニ不規則ノ複數ヲトル所ノ或ル名詞ヲ與ヘヨ
或ル名詞ガ各異ノ意味ヲ持タル規則並ビニ不規則ノ複數ヲモツ

單數	規則ノ複數	不規則ノ複數
兄弟	同上	義兄弟
賽	極印	博奕ノ賽
天才	天才ノ人	鬼神
頭	同上	家畜ノ頭數ニ用ユ
豆	同上數ヲ舉ルキ用ユ	量ニ用ユ
ヘン子錢	同上數ヲ舉ルキ用ユ	量ニ用ユ
帆	同上帆ノ數ニ用ユ	舟ヲ數フルニ用ユ

○兩數ニ於テ同ヲ形ナシモツ所ノ或ル名詞ヲ與ヘヨ
次ノ名詞ハ兩數ニ於テ同一デアアル、施シ、輔、加農砲、鹿、手段、羊、家猪、及ビ、
魚ト云フ詞ノ組立例ヘバ、アラ、等

○變化ナシニ英吉利語ニマデ導カレタル他國ノ詞ハ如何ニ彼等ノ複
數ヲ形造リナス乎

アルモノハ彼等ノ他國ノ複數ヲ保チ、アルモノハ規則通りノ英吉利
ノ複數ヲトリ、アルモノハ兩方ナトル

○*ラ*ニテ畢ル他國ノ名詞ハ如何ニ彼等ノ他國ノ複數ヲ形造リナス乎
*ラ*ニ於テノ他國ノ名詞ハ*ラ*チ^スニ變ズル脊骨ノ節全上ノ如シ

○*ス*ニ於テノ他國ノ名詞ハ如何ニ彼等ノ他國ノ複數ヲ形造リナス乎
*ス*ニ於テノ他國ノ名詞ハ^スチ^スニ變ズル例之ハ

單數	複數	單數	複數
生徒	全上	菓實ノ仁	全上
燒點	全上	半徑	全上
摩術者	全上	石棺	全上

○*ス*ハ名詞ガ亦規則通りノ英吉利ノ複數ナトルコトヲ意味ス、仁菓實
ノ全上全上

○*ス*ニ於テノ他國ノ名詞ハ彼等ノ複數ヲ如何ニ形造リナス乎
*ス*ニ於テノ他國ノ名詞ハ^スチ^スニ變ズル例之ハ

軸	全上	假說	全上
基礎	全上	砂漠中ノ膏地	全上
極所	全上	註點	全上

○*ミ*及*ビ*ニ於テノ他國ノ名詞ハ如何ニ彼等ノ複數ヲ形造リナス
乎

*ミ*及*ビ*ニ於テノ他國ノ名詞ハ^ミ及^ビニ變ズル例之ハ

小動物	全上	誤字	全上
園池	全上	体術場	全上
機關	全上	本草譜	全上

手鑑	全上	中央	全上
實事	全上	覺書	全上
讚賞	全上	顯象	全上

○アル尙ホ多クノ他國ノ名詞ノ複數ヲ與ヘヨ
 増補 同上 伊達者 同上 天人 同上 天使 同上

第十五課

○アル組立タル詞ハ如何ニ彼等ノ複數ヲ形造リナス乎
 次ノ組立タル詞ハ彼等ヲ組立テル所ノ兩方ノ言ヲ變ズル

僕	同上	婢	同上
ウツフ男	同上	ウツフ女	同上
男兒	同上	士會ノ名稱	同上

○其處ニ兩數ニ於テ見出サレヌ或ル名詞ガアル乎
 然リ、アル名詞ハ複數ヲモタヌ、而シテ或ルモノハ單數ヲ持タヌ

○複數ヲモタヌ所ノ或ル名詞ヲ記載セヨ
 德、不徳、術、學、病、及ビ量目ニテ賣ラレタル物品ノ多クノ名ハ複數ヲモ
 タヌ例ヘハ

堪忍	怠惰	建築術	音樂	病名	豕ノ脂
----	----	-----	----	----	-----

○單數ヲモタヌ所ノ或ル名詞ヲ記載セヨ
 アル名詞ハ單數ヲモタヌ、例ヘハ

土人	ビットル劑	荷物	石鹼水	年代記	家畜
本陣	音信	灰	衣裳	富	食物
玉遊ビ	花火	眼鏡	給金		

第十六課

牡獅子	牝獅子
童男	童女
ウツフ男	ウツフ女

○第一行ニ於ケル詞ヲ第二行ニ於ケル其レ等ト比較セヨ

○何ニガ目付ケラレネハナラヌ乎

初メハ男子顯ハシ、後チハ女子顯ハス

○分解スルコトニ於テ如何ニ余輩ガ *lion* 及ビ *lioness* チ區別シナス乎

余輩ガ *lion* ハ男性ノモノデアリ、而シテ *lioness* ハ女性ノモノデア
ルコト云フ

○然ルキ此處ニアル名詞ガ持ツ所ノ新シキ性質ガアル、其レハ何ント
名付ラル、乎

性

○其處ニ幾許ノ性ガアル乎

男性及ビ女性ナルニツ

○彼等ハ何ニチ顯ハシナス乎

男性ハ男子顯ハシ、女性ハ女子顯ハス

○隣人ノ如ク或ハ男或ハ女子顯ハス所ノ名詞ノ性ハ何ソデアアル乎

簡樸ナル名詞ハ男性或ハ女性デアアル、余輩ガ簡畧ニ其レハ通性ノモ

ノデアアルコト云フ

○總テノ名詞ガ性ヲ持チナス乎

否ラス○生活無キ事物ハ男デモアラヌ亦女デモアラヌ○コレカラ

シテ彼等ノ名ハ性ヲ持タヌ

第十七課

○何時普通名詞ガ人ニ像ラル、ベシ言ハル、乎

其レガ人ノ名トシテ用ヒラル、キニ

哀ガ彼レノ目ヲ蔽ヒツ、生ス○此處ニ哀ハ唯人ガ爲シ得ル所ノ或

ルコトヲ爲ストシテ代用サル、而シテ其レ故ニ其レガ人ニ像ラル、

コト言ハル、

○人ニ像ドラレタル物體ノ名ハ性ヲ持チナス乎

然リ○烈シキ及ビ勢ヒ強キ物體(軍、時ノ如シ)ハ男トシテ人ニ像ドラ
 ル、而ノ彼等ノ名ハ男性トナル、○温和ナル及ビ美麗ナル物體(望ミ、
 晩景ノ如シ)ハ女トシ人ニ像ドラル、而シテ彼等ノ名ハ女性トナル
 ○人ニ像トラレタル物體ノ名ハ如何ニ始メテバナラヌ乎
 頭字ヲ以テ

第十八課

總テノ男性ノ名詞ハ一致シタル女性ヲ持ツ乎

總テデナシ、然シナガラ或ルモノガ持ツ、牡獅子、牝獅子、童男童女ノ如シ

○女性ガ彼等ノ一致シタル男性カラ幾許ノ方法ニ於テ區別サル、乎
 三ツノ方法ニ於テ

第一變化ヲ以テ或ハ變化無シニ、男性ニ *ess, inae, ia.* 或ハ *u* チ加ヘル
 コト因テ例ヘハ

男性	女性
----	----

男性	女性
----	----

院主ノ僧	同上女
男役者	女役者
伯爵	同上女
公爵	同上女
帝	同上女
神	同上女
侯爵	同上女

勇者	同上女
人名	同上女
魯帝	同上女
支配人	同上女
執行人	同上女
トルコ帝	同上女
人名	同上女

第二、全ク殊異ナル詞ヲ用ユルコト因テ

男性	女性
伊達者	同上女
童男	童女
兄弟	姉妹
獸類ノ牡	同上牝

男性	女性
王	同上女
貴人ノ尊稱	同上女
男	女
主人	主婦

牛	同上牝	甥	姪
鴨	同上雌	牡羊	同上牝
伯爵	同上女	息子	息女
父親	母親	鹿	同上牝
鵝鳥	同上雌	若キ牛	同上牝
牡鹿	牝鹿	從父	從母
牡馬	牝馬	雄雀	同上雌
僕	婢	牡山羊	同上牝
男子孫	同上女	鹿	同上牝

第十九課

○文章ハ何ンデアル乎

文章ハ全キ意味ヲナス如キ箇様ナル詞ノ聚合デアル、蜂ガ蜜ヲ造ルノ如シ

○各ノ文章ガ何ニテ含マテハナラヌ乎 ●各ノ文章ハ或ル働キ或ハ有様ヲ極メル所ノ働詞ヲ含マテハナラヌ

○働詞ノ主ニ因テ何ニガ意味サル、乎 ●働詞ノ主ハ働キ或ハ有様ヲ極メラル、所ノ其レデアル

○働詞ノ目的ニ因テ何ニガ意味サル、乎
働詞ノ目的ハ働詞ニ因テ言出サレタル働キガ顯ハサル、所ノ其レデアル

○例ヲ與ヘヨ

蜂ガ蜜ヲ造ル ○ Make ハ働キヲ極メル而シテ働詞デアル ○ Bees ハ其レノ主デアル、honey ハ其レノ目的デアル

○如何ニ汝ハ働詞ノ主ヲ見出シ得ル乎 ●働詞ノ前ニ who 或ハ what ヲ

持テ疑問ヲ問フコトニ因テ○疑問ノ答ヘガ主デアル○箇様ニ何カ蜜ヲ造ルカ答、蜂ガ○ Bees ハ主デアル

○如何ニ汝ハ働詞ノ目的ヲ見出し得ル乎

働詞ノ後トニ whom 或ハ what 持テ疑問ヲ問フコトニ因テ○疑問ニマデノ答ガ目的デアル○箇様ニ蜂ガ何ヲ造ルカ答、蜜ヲ○ Honey ハ目的デアル、

○働詞ノ外カニ其ノ他何ニガ目的ヲ持ツ乎 ●前置詞、即チ關係ヲ顯ハス所ノ言、々ニ於テ、々ニ就テ、ノ後ニ、ノ前ニ、々ニ因テ々ノ代リニ、々ニ向テ、々ニカラ、於テ、迄テ、ノ、オーテ、ニ、迄テ、以テ、ト、ナシニ、ソトノ如シ

○例ヲ與ヘヨ

家ニ於テ、home ハ at ト云フ前置詞ノ目的デアル○シヤコブノ息子ノ爲メニ son 〽 for ト云フ前置詞ノ目的デアル

第二十課

○余輩ハ如何ナル性質ヲ持ツ可ク名詞ヲ見出しタル乎 ○主、目的等ノ關係ヲ區別スル爲メニ名詞ガ如何ナル他ノ性質ヲ持ツ乎 ●格ヲ

○幾許ノ格ガ其處ニアル乎 ●三ツ、主格、領格、及ビ目的格

○何時名詞カ主格ニ於テアル乎 ●名詞ガ主格ニ於テアル

第一、其レガ働詞ノ主デアルキニ「蜂ガ蜜ヲ造ル」ノ如シ

第二、其レガ働詞ノ後トニタチ、而シテ其レノ主ノ通り同シモノニ關係スルキニ「ビルギルハ羅馬人デアリシ」ノ如シ

第三、其レガ嘆息、話シカケ等ニ於テ獨立ニ用ヒラル、キニ「天ヨ如何ナル景況ツ」アゼンスノ人ナル汝ヨ「太陽ガ没シタトコロデ余レハ歸リシ」余輩ノ父ヨ彼ヲ何處ニアルカ」ノ如シ

○何時名詞ガ領格ニ於テアル乎 ●名詞ハ其レガアル他ノ名詞ヲ極メ而シテ物領、根元、或ハ適當チ含ム時ニ領格ニ於テアル、シヨソノ

帽子、山羊ノ毛 男ノ沓、ノ如シ

○如何ニ領格ガ知ラレ得ル乎 ●切點「」ニ因テ

○何時名詞ガ目的ニ於テアル乎

名詞ガ其レガ動詞或ハ前置詞ノ目的デアアルキニ目的格ニ於テアル
「蜂カ蜜ヲ造ル」「家ニ於テ」ノ如シ

第二十一課

○名詞ノ變化ニ因テ何ニガ意味サル、乎 ●其レノ種々ノ格ヲ通シテ

其レヲ取扱フコノ手數○箇様ニ

主格	犬ガ	全上ガ	蒼天ガ	全上ガ
領格	犬ノ	全上ノ	蒼天ノ	全上ノ
目的格	犬ヲ	全上ヲ	蒼天ヲ	全上ヲ
主格	牛ガ	全上ガ	男ガ	全上ガ
領格	牛ノ	全上ノ	男ノ	全上ノ
目的格	牛ヲ	全上ヲ	男ヲ	全上ヲ
主格	勇者ガ	全上ガ	人名ガ	全上ガ
領格	勇者ノ	全上ノ	人名ノ	全上ノ
目的格	勇者ヲ	全上ヲ	人名ヲ	全上ヲ

○汝ハ是等ノ名詞ノ物體格ニ就テ何ニテ目付ケナス乎

其レハ主格ニ同シアル

○單數ノ領格ハ如何ニ形造ラル、乎

單數ノ主格ニ切點及ビ「」ヲ添ルコニ因テ

○複數ノ領格ハ如何ニ形造ラル、乎 ●其レガ既デニニ於テ畢ルニ

非レバ主格ノ複數ニニ添ユルコニ因テ其レノ場合ニ於テハ唯、切

點ガ添ヘラル、

第二十二課

○言語ノ第二ノ部ハ何ンデアル乎●代名詞

○代名詞ハ何ンデアル乎●代名詞ハ名詞ノ代リニ用ヒラレタル言デアル

○例ヲ與ヘヨ

サラীগウヰルリヤムノ書籍ヲサライニ貸スコトヲウヰルリヤムニ請ヒシ○此レハ拙クアル○各稱名詞ヲ操リ返スヲ避ル爲メニ、余輩ガ *Her* 及 *His* ナル代名詞ヲ代用スル「サラীগ彼ノ書籍ヲ彼レニ貸スコトヲウヰルリアムニ請ヒシ」

○代名詞ノ幾許ノ種類ガ其處ニアル乎●其處ニ代名詞ノ四ツノ種類ガアル、人代名詞、關係代名詞、疑問代名詞、及ヒ形容代名詞

○代名詞ニ如何ナル性質ガ属スル乎●名詞ニマテノ如ク同シモノ、人稱、數若シ彼等ガ生活ヲ持タルモノヲ顯ハスナラバ、性、及ヒ格

第二十三課

○人代名詞ハ何ンデアル乎●人代名詞ハ其レニツイテアル他ノ思フモノヲ導シテ無シニ單ニ人ニ代用シ而シテ其レノ人稱ヲ定ムル所ノモノデアル

○單ナル人代名詞ヲ舉ゲヨ
單ナル人代名詞ハアル

男ガ顯サル、ナラバ男性、女ナラバ女性ノ第一人稱ナル
一男ガ顯サル、ナラバ男性、女ナラバ女性ノ第二人稱ナル John
男性ノ第三人稱ナル He
女性ノ第三人稱ナル She
性ナレノ第三人稱ナル It

○單ナル人代名詞ヲ變化セヨ
單ナル人代名詞ハ簡様ニ變化サル、

第一人稱

單數	複數	單數	複數
主格 余ガ	全等ガ	汝ガ	汝等ガ
領格 余ノ	全上 余等ノ	汝ノ	汝等ノ
目的格 余チ	余等チ	汝チ	汝等チ
		全上	全上

第三人稱

單數	複數	單數	複數	單數	複數
主格 彼ガ	彼等ガ	彼ガ	彼等ガ	其レガ	其等ガ
領格 彼ノ	彼等ノ	彼ノ	彼等ノ	其ノ	其等ノ
目的格 彼チ	彼等チ	彼チ	彼等チ	其チ	其等チ

第二十四課

○組立タル人代名詞ハ如何ニ形造ラル、乎
 組立タル人代名詞ハ單ナル人代名詞ノ領格或ハ目的格及ヒ self ナル詞カラ形造ラル、

○組立タル人代名詞ヲ舉ゲヨ

余自身ノ、複數余等自身ノ、同上第一人稱
 汝自身ノ、複數汝自身同上、第二人稱
 彼レ自身、複數彼等自身、男性第三人稱
 彼女自身、複數彼等自身、女性第三人稱
 其レ自身、複數彼等自身、無性ノ第三人稱
 ○組立タル人代名詞ハ如何ナル格チ欠キナス乎 ●彼等ハ領格チ欠レ而レテ主格ニ於テノ如ク目的格ニ於テ同シ形ヲ造リチ持ツ

第二十五課

○十分ニ分解スルコトニ於テ、何ニガ爲サレネバナラヌ乎 ●規則ガ名詞及ビ代名詞ノ格ニムカツテ與ヘラレチバナラヌ
 ○如何ナル一般ノ語ガ名詞並ヒニ代名詞チ含ム乎 ●實名詞
 ○主コマテ關係スル第一規則ヲ述ベヨ

第一規則—動詞ノ主テアル所ノ實名詞ガ主格ニ於テアル年ガ來リ
而シテ行ク「汝ハ余ヲ愛スルカ」ノ如シ

○獨立ニ用ヒラレタル實名詞ニマテ關係スル第二規則ヲ述ベヨ

第二規則—獨立ニ用ヒラレタル實名詞ハ主格ニ於テアル

「ナポレオンガ攻撃シタ所ヲ戰ヒガ決セラレシ」ロバートヨ行キナス
「嗚呼不幸ナリ余輩ヨ」新婦余ハ彼女ニ就テ何チ言ヒ得ルカ」

○ *Napoleon, Robert, we,* 及 *the bride,* ハ獨立主格ニ於テアル

○ 領格ニムカツテ第三規則ヲ述ベヨ

第三規則—持領、根元、或ハ適當チ含ムコトニ因テ各異ナル人或ハ物チ
顯ハス名詞チ極メル所ノ實名詞ハ領格ニ於テアル「余ノ、モルセス名
ノ傳信機、男ノ沓」ノ如シ

○ 目的格ニ關係スル第四規則ヲ述ベヨ

第四規則—動詞或ハ前置詞ノ目的テアル所ノ實名詞ハ目的格ニ於

テアル「余輩ヲ怜シム」埃及土ニ於テ「ノ如シ

分解スル形式—名詞及ヒ人代名詞チ分解スルコト及ヒ上ノ規則チ應
用スルコトニムカツテ形式ノ學ベ—

余ノ息子ヨ余ハ繼續ニ就テ思考スルコトヲ請フ

第二十六課

○ 極メル名詞ハ其他何ニテ顯シウル乎

持領、根元、及ヒ、適當ノ外カニ極メル名詞ガ顯シ得ル

第一、時、彼ガ前ノ一周ニ行キシ「ノ如シ

第二、方角、彼ガ西ニ行キシ「ノ如シ

第三、廣ガリ「廣サ一寸」ノ如シ

第四、分量「其レハフソシルチ量リシ」ノ如シ

第五、價直「其レハ余コードルラルチ價セシ」ノ如シ

○ *weak, west,* 等ナル此レ等ノ極メル名詞ハ如何ナル格ニ於テアル乎

目的格ニ於テ

○極ノル實名詞ニ關係スル第五規則ヲ述ベヨ

第五規則—時、方角、廣サ、分量、或ハ價直ヲ顯ス極メル實名詞ハ屢前置詞無シニ目的格ニ於テタツ

分解ノ形式—「シーザー」ハ第十九世以前ニ生活セシ「ゴリアス」ハ殆ソト十尺高シアリシ

第二十七課

○何時一ツノ實名詞ガ他ノモノト同格ニ於テアルコト言ハル、乎●
一ツノ實名詞ガ其レノ意味ヲ説キ明カシ或ハ附加スルコトノ爲メニ、同シ人或ハ物ヲ顯ハス他ノ實名詞ニ附合サル、キニ其レガ終リノモノト同格ニ於テアルコト言ハル、

○同格ニ於ル名詞ノ例ヲ與ヘヨ

「蒸氣船」ノ發明者ナル「フルトン」ニ於テ *inventor* ハ *Fulton* ト同格ニ於テ

アル○「サミニユルナル」預言者ニ於テ *prophet* ハ *Samuel* ト同格ニ於テアル

○同格ニ於テアル所ノ名詞ハ如何ナル格ニ於テアル乎

其レガ同格ニ於テアル所ノ名詞ノ通り同シ格ニ於テ○*Inventor* ハ *Fulton* ノ通り同シ格ニ於テアル、*prophet* ハ *Samuel* ノ如キ同シ格ニ於テアル

○同格ニ於ル實名詞ニ關係スル第六規則ヲ述ベヨ

第六規則—同シ人或ハ物ヲ顯ハス他ノ實名詞ニ結合サレタル一ツノ實名詞ハ同シ格ニ於テアル

○目的ヲ持タヌ所ノ働詞ニ關係スル第七規則ヲ述ベヨ

第七規則—目的ヲ持タヌ所ノ名詞ハ兩ツノ詞ガ同シ人或ハ物ニ關係スルキニ其レノ前ノ通り後トニ同シ格ヲトル

○第七規則ノ例ヲ與ヘヨ

「コスレニコスコハポーラン人デアリシ」○wasナル働詞ノ後トニ來ル
Poleハ其レノ前ニ立ッ所ノKosciuskoノ如キ同ヲ格ニ於テアル、委シク
言ヘバ、主格

分解スル形式―預言者ナルサミニールハハンナーノ息子デアリシ

第二十八課

○關係代名詞ハ何ソデアアル乎 ●關係代名詞ハ各異ナル人稱及ビ數ニ
ムカツテ形チノ變化無ニ、文章ノ部分ヲ結合スルコトノ爲メニ用ヒラ
レタルモノデアアル

「ゼームフ其レハ(所)アリシ起テ早ク見レ太陽ヲ昇ル」○Whoハ關係
代名詞デアアル、其レハ文章ノ他處トwas up earlyヲ連結スル

○何故ニ關係代名詞ハ左様ニ名付ラル、乎 ●彼等ハ先行詞ト名付ラ
レタル、前ニ行キタルアル詞或ハ數詞ニ關係スル故ナリ○Jamesハ方
サニ與ヘタル例ニ於テ先行詞デアアル

○如何ニ關係代名詞ハ區別サル、乎 ●單一及ビ紐立テタル者トシテ

○單一ナル關係代名詞ヲ舉ケヨ

單一ナル關係代名詞ハ which, that, what, as 及ビ what デアル

○單ナル關係代名詞ヲ變化セヨ

單ナル關係代名詞ノ複數ハ單數ト同シクアル○彼等ハ箇様ニ變化
サル、

單及複	單及複	單及複	單及複
主格	其レハ	全上	全上
領格	其レノ	全上	全上
目的格	其レヲ	全上	全上

第二十九課

○whoナル關係代名詞ハ何ニ適用セラル、乎

Whoハ人及ビ人ノ像ドラレタル動物及ビ事物ニ用ヒラル、一人共レ

夢ミルトコロノ人「樂」其レハ只裏切スルタメニ笑フトコロノ樂ニ
ノ如シ

○ *which* ナル關係代名詞ハ何ニコマデ適用セラル、乎 ● *Which* ハ動物
及ビ事物ニ用ヒラル、
「犬其レハ吠ルトコロノ犬」太陽其レハ總テ
ノ爲メニ照ラストコロノ太陽ノ如シ

○ *That* ナル關係代名詞ハ何ニコマデ適用セラル、乎 ● *That* ハ人、動物
及ビ事物ニ用ヒラル、
「人其レハ夢ミルトコロノ人」犬其レハ吠ル
トコロノ犬「太陽其レハ總テノ爲メニ照ラストコロノ太陽」

○ *as* ナル關係代名詞ハ何ニコマデ適用セラル、乎 ● *as* ハ人、動物、及ビ
事物ニ用ヒラル、○ 其レハ *such, one, as many, so many, as much, so much*;
ノ後トニ用ヒラル、例ヘハ「夢ミル如キケ様ナル人」來リシ通り左様
ニ多シ

○ *what* ナル關係代名詞ハ何ニコマデ適用セラル、乎 ● *What* ハ事物ニ
用ヒラル、而シテ先行詞及ビ關係代名詞ニ均シクアル汝ガ希フト
コロノ其レヲ取レノ如シ

○ *that* ハ常ニ關係代名詞デアアル乎 ● 否ラズ、其レハ時トシテ接續詞デ
アル、例ヘハ「彼レガ其レガ雨降ルデアラフコトヲ言シ」
that ガ關係代名詞デアアルキ、其レノ位置ニ於テ用ヒラレタル *who, whom,*
及ビ *which* ガ意味ヲナスデアラフ、其レハ良キ羅紗ヲ着ルトコロノ總
テノ人が貴人デアラヌ」ノ如シ

○ *as many as, as much as* ナル言出シニ於テ何レノ *as* ガ關係代名詞デア
ル乎 ● 第二、第一ノ *as* ハ副詞デア
ル

第三十課

○ 關係代名詞ハ其レノ形ヲニ因テ其レノ人稱及ビ數ヲ顯ハシナス乎 ●
否ラズ、其レノ人稱及ビ數ガ變化スルキニ其レノ形ヲガ變化シ爲サス
○ 然ラバ、余輩ガ如何ニ關係代名詞ノ人稱及ビ數ヲ告ゲ得ル乎 ● 其レ

が人稱及ビ數ニ於テ一致スル所ノ其レノ先行詞ヲ見ルコトニ因テ

○箇様ニ

I	who	(單數ノ第一人稱)	we	who	(複數ノ第一人稱)
Thou	who	(單數ノ第二人稱)	You	who	(複數ノ第二人稱)
He	who	(單數ノ第三人稱)	They	who	(複數ノ第三人稱)

○關係代名詞ノ一致ニムカフテ第八規則ヲ述ベヨ

第八規則 | 關係代名詞ハ人稱及ビ數ニ於テ其レノ先行詞ト一致ス

○關係代名詞ハ格ニ於テ其レノ先行詞ト一致シナス乎 ●否ラズ格ニ於テ其レガ其レノ先立カラ獨立デアアル

○其レヲ例ニ因テ示セヨ

「ソロモン其レハメビドノ息子デアリシトコロノソロモンニ因テ堂ガ建テラレシ」

○Solomonナル先行詞ハbyナル前置詞ノ目的デアアル所デ、目的格ニ於テ

アル、然シナカラwhoナル關係代名詞ハpossナル動詞ノ主デアアル所デ、主格ニ於デアアル

○關係代名詞ヲ分解スルコトニ於テ、幾許ノ規則ガ與ヘラレネバナラヌ乎 ●ニツ、其レノ一致ニムカフテ第八規則、而シテ其レノ格ニムカフ

テ、何ンデモ他ノ規則ガ要セララル、所ノモノ

Whatハ組立テノ關係代名詞ノ勢ヲ持ツ、而シテ次ノ課ニ於テ顯ハサル、如ク彼等ニ同シク分解サル、

第三十一課

○組立テタル關係代名詞ヲ舉ゲヨ

唯人ニノミ適用サレタル Whoever whosoever

人、動物、及ビ事物ニ適用セラレタル Whichever whichever

唯事物ニノミ適用セラレタル Whatever whatsoever

○組立テノ關係代名詞ヲ變化サセヨ

whoever 及び whoseever ノ外カ組立タル關係代名詞ノ何レモ變化セズ

○彼等ハ兩數ニ於テ同シナル而シテ箇様ニ變化サル、

單及複 單及複

主格 Whoever, Whosoever,

頭格 whomever, whosoever,

目的格 whomever, whomsoever,

○組立タル關係代名詞ハ通常何ニ均シナル乎 ● what ニ同シク

組立テ關係代名詞ハ通常先行詞及ビ單ナル關係代名詞ニ均シナル

“Whoever” [委ミン言クハ any one who] is low-spirited should

learn to skate.” “Take whichever feather that”

you choose.” ノ如シ

○ what 及ビ組立テノ關係代名詞ハ幾許ノ格ヲ顯ハシナス乎 ● ニツノ

格、先行詞トシテ一ツ及ビ關係代名詞トシテ他ノモノ ○此格カ異

ナリテアルキハニツノ規則ガ分解スルコニ於テ與ヘラレネバナラヌ

分解スル形式 — Be content with what you have.

— Bring whoever is there.

第三十二課

○疑問代名詞ハ何ンデアル乎 ● 疑問代名詞ハ疑問ヲ問フコニムカッ

テ、不定ニ問チ答フルコニ於テ及ビ同様ノ不定ノ言ヒ出シニ於テ用

ヒラレタルモノデアル

○問 — 誰ガ其レチナセシカ [其レハ何レデアリシカ] 實ハ何デアアルカ

不定ノ答 — 余ハ誰レガ其レチナセシカ 實ハ何レデアアルカチ知ラス

不定ノ言出シ — 誰レガ其レチナセシカ 其レガ何レデアアリシカチ見

出セ

○疑問代名詞ヲ擧ゲヨ

問代名詞ハ who, which, 及ビ what, デアル

○疑問代名詞ハ如何ニ變化サル、乎●一致スル關係代名詞ノ如ク、三十五丁ヲ見ヨ

○何時 *who* 及び *which* が關係代名詞デアアル乎而シテ何時疑問代名詞乎、*who* 及び *which* が先行詞ニ關係スルキニ、彼等ハ關係代名詞デアアル、關係セヌキニ疑問代名詞デアアル

○何時 *what* が關係代名詞デアアル乎而シテ何時疑問代名詞デアアル乎●
what ナル代名詞ガ *that which* ニ均シキキニ、關係代名詞デアアル、然カラザルキニ、其レガ疑問代名詞デアアル

○同ガ單ナル詞ニ因テ答ヘラル、キニ、如何ニ汝ハ其詞ノ格ヲ見出シ得ル乎●
○答サレタル言ヲ充ツルコトニ因テ○箇様ニ「マツソンガゼフェルソンヲ續キシシカ」マツソン委シク言ハル「マツソンガゼフェルソンヲ續キシ」*Madison* ハ答サレヌス *succeeded* ノ主デ、主格ニ於テアル

「マツソンガゼフェルソンヲ續キナセシカ」ゼフェルソン委シク言ハル「マツソン

ンガゼフェルソンヲ續キシ」*Jefferson* ハ答サレタル *succeeded* ノ目的デ、目的格ニ於テアル

分解ノ形式「汝ハ誰レヲ見シカ」余ハ其レガ誰レノ書籍デアアルカヲ知ルベシ好ムデアアラフ」

第三十三課

○上ノ種類ノ内ニ含マレヌ總テノ代名詞ハ何ント名付ラル、乎●形容代名詞

○形容代名詞ハ如何ニ分ケラル、乎●三ツノ種類ニマデ……
第一、指示代名詞其レハ物其レニ彼等ガ關係スル所ノ物ヲ細密ニ指示ス *This, that, Foramer, latter, both, same.*

第二、配分代名詞其レハ別々ニ取ラル、トシテ物ヲ名代ス…… *Each, every, either, neither.*

第三、不定代名詞其レハ特定ニ於ケルアルモノヲ特示スルコト無シニ、

一般ニ物ニ關係ス。One none, other, another, some, all, any, such.

○是等ノ詞ガ常ニ名詞ト共ニ用ヒラル、乎而シテ彼等ノ代リニ然ヌ乎●然リ「此書物」各々ノ人ノ如シ○此場合ニ於テ彼等ガ形容詞デアアル

○形容代名詞ハ如何ニ變化サル、乎●形容代名詞ノ多クハ變化シナサマ○ 'This, that, one' 及ビ 'other'、ハ次ギノ如ク變化サル、内 'Another' ハ 'other'、ノ如ク單數ニ於テ變化サル、然シナガラ複數ヲ持ツマ

主格	This,	these,	單數	複數
領格	—	—	單數	複數
目的格	this,	these.	單數	複數
主格	one,	ones,	單數	複數
領格	ones;	ones,	others;	others'

目的格 one; ones, — other; others

分解ノ形式—彼等ハ互ヒニ愛セシ

第三十四課

第三十五課 譯者曰ク此二課ハ再閱演習等ノミチ以テ略ス

第三十六課

○冠詞ハ何ソデアアル乎●冠詞ハ彼等ノ意味ヲ極メル爲メニ他ノ言ノ前ニ用ヒラレタル the 及ビ his 或ハ his ナル詞デアアル、「コノ薔薇一ツノ英國ノ薔薇」一ツノ白キ薔薇」ノ如シ

○二ツノ冠詞ガ如何ニ區別サル、乎● The ハ定冠詞ト名付ラル、○其レハ兩數ニ於テノ名詞ト共ニ用ヒラル、而シテ一般ニ定リタル物或ハ諸物ヲ顯ハス、「コノ薔薇コレラノ薔薇」ノ如シ

或ハ不定冠詞ト名付ラル、○其レハ唯單數ニ於テノ名詞ト共ニ用ヒラル、而シテ一ツノ物体ヲ顯ハス、然シナガラ特定ノモノ

ヲ顯ハサヌ、一ツノ蓋蔽ノ如シ

○何時^①ガ不定冠詞トシテ用ヒラレネバナラヌ乎^②△^③ハ母韻ノ音ヲ以テ始マル詞ノ前ニ用ヒラレネバナラヌ「一ツノ蟻」「一ツノ傘」「一ツノ名譽」ノ如シ

○何時^④ガ不定冠詞トシテ用ヒラレネバナラヌ乎^⑤△^⑥ハ子韻ノ音ヲ以テ始マル音ノ前ニ用ヒラレネバナラヌ「一ツノ鳥」「一ツノ鷲キ」
「一年」「單位」「アル液」ノ如シ

○或^⑦ハ^⑧ハ^⑨及ビ^⑩ヲ以テ始マル詞ノ前ニ用ヒラレネバナラヌ乎^⑪○^⑫ハ其レ故ニ是等ノ文字或ハ彼詞ヲ始ムル^⑬及ビ^⑭ハ子韻デアル○△^⑮ハ其レ故ニ是等ノ文字或ハ彼等ノ音ヲ以テ始マル詞ノ前ニ用ヒラレネバナラヌ

○何故ニ余輩ガ^⑯an heir, ト言ヒ、然シナガラ^⑰a humor ト言ヒナス乎^⑱△^⑲ハ兩ツノ是等ノ詞ニ於テ無聲デアル○Heir, ハ母韻ノ音ヲ以テ始マル所デ^⑳an, チ取ル humor, ハ子韻ノ音ヲ以テ始マル所デ^㉑an, チ取ル

○冠詞ニ關係スル第九規則ヲ述ベヨ

第九規則——冠詞ハ其レノ意味ヲ其レガ極メルトコロノ詞ニマデ關係ス分解スル形式——人民ノ友達

第三十七課

○首語ノ第四ノ部ハ何ンデアル乎●形容詞

○余ガ^①此ノ五ツノ熟シタル林檎ト言フ^②an, applesナル詞ハ何ニ^③因テ極メラル、乎●those, 及ビripeナル言ニ因テ○Thoseハ何ノ林檎ガ思ワル、乎チ余輩ニ話ス、^④ripeハ幾許ノ林檎乎チ話ス、^⑤ripeハ林檎ノ如何ナル種類乎チ話ス○名詞或ハ代名詞ニ結合サレタル、此等ノ如キ言ガ形容詞ト名付ケラル、

○形容詞ハ何ンデアル乎●形容詞ハ實名詞ノ意味ヲ限り則チ極メル爲メ^⑥川ヒラレタル詞デアル「美シキ蓋蔽」「幸ナル汝」ノ如シ

○形容詞ガ關係スル所ノ主ガ常ニ略サル、乎●其レハアル、余輩ガ^⑦善

キ人「生活スル人」ヲ意味スル *the good, The living* ニ就テ話スキノ如ク

○形容詞ガ幾許ノ種類ニマデ分ケラル、乎●形容詞ハ四ツノ種類ニマデ分ケラル、固有、數、代名及ヒ普通形容詞

○固有形容詞ハ何ソデアアル乎●固有形容詞ハ固有名詞ノ形ヲ持チ或ハ固有名詞カラ導カレタルモノデアアル「ホスト」ノ賤民「アイルラン」ノ音節ノ如シ

固有形容詞ハ頭字ヲ以テ始マル

○數形容詞ハ何ソデアアル乎●數形容詞ハ定マリタル數ヲ顯ハス所ノモノデアアル「三日」「第三更時」「三倍ノ利得」ノ如シ

○代名形容詞ハ何ソデアアル乎●代形容詞ハ或ル代名詞ノ形ヲ持チ然レトガテ名詞ト共ニ用ヒラレ、而シテ彼等ノ代リニ用ヒラレヌ詞デアアル「此男」「アヲユル物」各々ノ日「如何ノ景況」ノ如シ

○代名形容詞ヲ舉ゲヨ

代名形容詞ハ *which, what, whichever, whatsoever, whatever, whatsoever, this, that, these, those, former, latter, both same, each, every, either, neither, none, other, another, some, all, any, such, 等*

○形容詞ノ第四ノ種類ハ何ソデアアル乎●普通形容詞其レハ上ノ種類ノ内ニ保タレヌ總テチ合ム

○普通形容詞ハ何コチ顯シ得ル乎●普通形容詞ハ顯シ得ル

第一、形容、即チ、美シキ、惰ナル、紅熱ノ、常ニ思ヒ出サルベキ、

第二、分量、即チ、多クノ作業、十分ナル貨幣、全キ月、

第三、材料、即チ「金ノ冠」「木ノ釘」

第四、時、即チ、毎日ノ、每周ノ、毎年ノ、續ク、常ニ續ク、

第五、場所、即チ「上ノ規則」「離レタル馬」「下ヲノ方」

第一、不定ノ數、即チ、種々ノ、種々ノ、僅カノ、多クノ、

○シヨソガ丈ケ高クアルセームスガヨリ高クアル然シナガラセオシガ
最モ高クアル余輩ガ此文章ニ於テ何ニテ話サル、乎●丈ケ高サノ形
容ハ各異ノ楷級ニ於テ John, James, 及ビ George, ニ属スルヲ

○是等ノ各異ノ楷級ハ如何ナル詞ノ内ニ含マル、乎●高ク、ヨリ高ク、最
モ高ク、ナル形容詞ノ内ニ○ソコカラシテ形容詞ノ形ヲ変形スルコ
トニ因テ、余輩ガ其レヲシテ各異ノ楷級ニ於テノ形容ヲ顯ハサシム可
シ

○形ヲニ於テ斯ノ如ク變形サレタル形容詞ニ就テ何ニガ言ハル、乎●
其レガ比較サル、トト言ハル、

○比較ノ幾許ノ楷級ガ其處ニアル乎●三ツ、定級、比較級、及ビ最上級ナリ
○定級ハ何ンデアル乎●定級ハ其レノ最モ單ナル形ヲニ於テノ形容詞
ニ因テ顯ワサレタル楷級デアル、彼ハ賢ク而シテ幸デアル、ノ如シ

○比較ハ何ンデアル乎●比較級ハ其レガ比較サル、所ノアル他ノモノ
或ハ他ノモノ等ヨリ尙ホ高キ楷級デアル、彼ハ余レヨリモヨリ賢ク而
シヨリ幸デアル、ノ如シ

○最上級ハ何ンデアル乎●最上級ハ比較サル、所ノ總テノモノ、最モ
高キ楷級デアル、彼レハ余輩總テノ最モ賢ク而シテ最モ幸デアル、ノ如
シ

○如何ニ比較及ビ最上級ハ形造ラル、乎●比較ノ楷級ハ定級ニヨリ添
ユル、トニ因テ形造ラル、而シテ最上級ハ定級ニ est, チ添ユル、トニ因
テ形造ラル、丈ケ高キ、ヨリ高キ、最モ高キ、軟カナル、ヨリ軟カナル、最モ
軟カナル、ノ如シ

○如何ナル變化ガ時トシテハ及ビ est, チ添ユル、トノ前ニ定級ニ於テ爲
サレネバナラヌ乎●第一結尾ノハ、樂ラレテバナラヌ、粗ナル、ヨリ粗
ナル、最モ粗ナル、ノ如シ

第二、子韻ニ因テ先立ダ、レタル結尾ノハ、ニ變セラレネバナラヌ、神

聖ナル、ヨリ神聖ナル、最モ神聖ナル、ノ如シ
第三、單ナル母韻ニ因テ先立メ、レタル結尾ノ子韻ハ重テラレテハナラ
ヌ、淋タル、ヨリ淋タル、最モ淋タル、ノ如シ

第三十九課

○總テノ形容詞ガ比較サレ得ル乎 ●否ラズ ○一ツノ熟音ノ多クノ形容
詞ガ比較サル、及ヒ二ツノ熟音ノアルモノガ比較サル、然シナガラ
二ツヨリ多クノ何レモガ比較サレヌ ○余輩ガヨリ美シキ、最モ美シキ
ト云フ、然シナガラヨリ平穩ナル、最モ譽レナル、ト言ハヌ

○形容詞ノ如何ナル全キ種類ガ比較サレヌ乎 ●一般ノ規則トシテ固有
數、及ヒ代名形容詞ガ比較サレヌ

○如何ナル普通形容詞ガ比較サレヌ乎 ●其等ノ意味ガ各異ノ階級ヲ許
レナサヌ所ノ其等、重ナル、日々ノ、無キ、ノ如シ

○其處ニ形容詞ヲ比較スルノ外カ各異ノ階級ヲ顯スノ如何ナル他

ノ法方ガアル乎 ● *more, most, less, least*, 等ナル副詞ヲ用ユルノ其レ故
ニ余輩ガヨリ快キ、ノ代リニ「ヨリ快キ」最モ快キ、ノ代リニ「最モ快キ」ト言
フ可レ

○何時ノ形容詞ガ比較サル、トト言ハル、乎 ●其レガ及ヒ *est* ヲ
取ルキニ

○形容詞ニ關係シタル第十規則ヲ述ベヨ

第十規則—形容詞ハ其レノ意味ヲ其レガ形 ●シ則チ限ル所ノ實名詞ニ
關係スル

○形容詞ガ關係スル所ノ實名詞ハ如何ニ見出サル可キ乎 ● *who* 或ハ *what*
ヲ持タル問ヲ問フニ因テ、箇様ニ—「象ハ獸ノ最モ大ナルモノデアル」
問獸ノ最モ大ナルハ何カ「答」獸ノ最モ大ナル獸」○ *Largest* ハ畧サレタル
beast ニ關係スル

○余輩ガ形容詞ヲ如何ニ分解セシメハナラヌ乎 ●形容詞ヲ分解スル爲メ

ニ、其レノ種類ヲ顯ハセ、其レガ比較サレ得ルナラハ、其レヲ比較セヨ、而
レテ其レノ階級ヲ記セ、其レカ何ニニ關係スル乎ヲ告ゲ而シテ第十規
則ヲ熟見セヨ

分解スル形式「六月ノ薔薇ハ花ノ最モ美キモノデア
ル

第四十課

○不規則ノ形容詞ヲ比較セヨ

アル形容詞ハ不規則ニ比較サル、

定級	比較級	最上級
悪シキ	ヨリ悪キ	最モ悪キ
全上	ヨリ善キ	最モ善キ
全上	ヨリ少キ	最モ少キ
善キ	ヨリ多シ	最モ多シ
少キ	ヨリ多キ	最モ多キ
多シ		
多キ		

近キ

ヨリ近キ

最モ近キ

Late 及ビ Old ハニツノ形ヲ取ル

Late,	later,	latest,	Old	older,	oldest,
	latter,	last.		elder,	eldest.

○ most ニ於テ最上級ヲナス所ノアル形容詞ヲ比較セヨ

次ハ most ニ於テ最上級ヲ爲ス

遠キ	ヨリ遠キ	最モ遠キ	全上	全上
前ノ	ヨリ前	最モ前		
後ノ	ヨリ後	最モ後		
低キ	ヨリ低キ	最モ低キ		
	ヨリ内ノ	最モ内		
	ヨリ外ノ	最モ外		
	ヨリ上ノ	最モ上		

前面

北ノ

最モ前面
最モ北

○優リタル、劣リタル、前ノ、後ノ、以前ノ、遠キ、少カキ、及ビ長シタル、ハ如何ナル
階級ニ於テアル乎 ●比較級ニ於テ ○彼等ハ定級モ尙ホ最上級ヲモ
持タヌ

○僅カノ組立テ形容詞ハ如何ニ比較サル、乎 ●彼等ヲ組立テル所ノ單
ナル言ノ最初ノモノヲ變ズルヲニ因テ、則チ

温和ナル

ヨリ温和ナル

最モ温和ナル

眼ノ爛キタル

ヨリ眼ノ爛キタル

最モ眼ノ爛キタル

第四十一課

○事物ヲ極メルヲノ幾許ノ方法カ共處ニアル乎 ●四ツ ○余輩ガ極メル
キニハ余輩カ定メ、叫ビ、問ヒ、或ハ命令シ得ル ○箇様ニ
定メ カルロガ吠ル

カルロガ氣惱シアル

叫ビ カルロガ如何ニ吠ルゾ

カルロガ如何ニ眠ルゾ

問ヒ カルロハ吠ヘ得ルカ

カルロガ傷付ケラレタカ

命令 カルロヨ吠ナスナ

カルロヨ汝ノ食ヲ喰ヘ

○極メル所ノ詞ハ何ント名付ラル、乎 ●極メル所ノ詞ハ働詞ト名付ラ
ル、

上ノ例ニ於テ吠ユル、吠ヘ能フ、等ノ詞ノ如シ

○働詞ハ何ンデアル乎 ●働詞ハ働キ或ハ有様ヲ極メル爲メニ用ヒラレ
タル詞或ハ諸詞デアル

○幾許ノ詞カラ働詞ハ成立チ得ル乎 ●四ツノ如ク左ヤウニ多クカラ「彼
レガ傷ケラレタデアラフ」ノ如シ

○働詞ノ主ハ何ンデアル乎 ○第十九ノ課ヲ見ヨ ○働詞ノ主ハ如何ニ見
出サレ得ル乎 ○主ハ常ニ略サル、乎 ●其レガ特ニ命令ヲ顯ス所ノ文
章ニ於テアル「カルロヨ汝吠ヘナスナ」ノ如シ ○略サレタル Youガ主デ

アル

○彼等ノ意味ニ就テ、如何ニ働詞ガ區別サル、乎

移リ行キ働詞及ヒ移リ行カザル働詞トシテ

○移リ行キ働詞ハ何ンデアル乎●移リ行キ働詞ハアル人或ハ物ノ上ニ
顯ハサレタル働キヲ極メル所ノモノデアル、サラ一ガ瓶子ヲ破リシ瓶
子ガ破ラル、ノ如シ○此處ニ破ルカ瓶子ノ上ニ顯ハサル、

○移リ行カザル働詞ハ何ンデアル乎●移リ行カザル働詞ハアル人或ハ
物ノ上ニ顯ハサレヌ有様或ハ働詞ヲ極メル所ノモノテアル、サラ一ガ
幸デアル、サラ一ガ泣キシノ如シ

○同ヲ詞ガ一ツノ文章ニ於テ移リ行キ働詞デ而シテ他ニ於テ移リ行カ
ザル働詞デアリ得ル乎●其レハアリ得ル○「彼レガ彼ノ面ヲ向ケシニ
turnedハ其レガfaceナル目的ヲ持ツ故ニ移リ行キ働詞デアル、」彼ガ向キ
シ「turned」其レガ目的ヲ持タヌ故ニ移リ行カザルモノデアル

第四十二課

○移リ行キ働詞ノ主ハ如何ニ顯ハサレ得ル乎●移リ行キ働詞ノ主ハ
二ツノ方法ニ於テ顯サレ得ル

第一、働シトシテ○「蜂ガ蜜ヲ造ル」

第二、働カレルトシテ、「蜜ガ蜂ニ因テ造ラル、」

○移リ行キ働詞ノ此等ノ形ヲ如何ニ區別サル、乎●其レノ主カ働
シトシテ顯ハサル、トキニ、働詞ガ働キ方ノ仕方ニ於テアルト言
ハル、

其レノ主ガ働カレルトシテ顯ハサル、トキニ、働詞ガ受ケ方ノ仕方
ニ於テアルト言ハル、

○上ノ例ニ於テ *made* ハ如何ナル仕方ニ於テアル乎○ *Is made* ハ○如
何ナル働詞ガ仕方ヲ持タヌ乎●彼レ等ノ主ハ決シテ働カレルトシ
テ顯ハサレ得ヌ、故ニ移リ行カザル働詞ガ○彼レ等ノカタチガ働キ

仕方ニ於テノ移リ行ク働詞ノ其レト一致スル

○仕方ノホカニ働詞ハ如何ナル性質ヲ持ツ乎●四ツ、法、時、人稱、及ビ數

○法ハ何ンデアル乎●法ハ其レガ極メル所ノ仕方ヲ區別スル所ノ働

詞ノ此性質デアル

○幾許ノ法ガ其處ニアル乎●其處ニ五ツノ法ガアル、直說法、許可法、附

屬法、命令法及ビ不定法

第四十三課

○時ハ何ンデアル乎●時ハ其レガ極メル所ノモノ、時ヲ區別スル所ノ働詞ノ其性質デアル

○直說法ハ幾許ノ時ヲ持ツ乎●直說法ハ六ツノ時ヲ持ツ、現在、半過去、過去、大過去、第一未來及ビ第二未來

○各々ノ時ガ何ニテ顯ハスカテ話セ而シテ例ヲ與ヘヨ

直說法ノ現在ハ働キガ現在ノ時ニ於テ出來ツ、アリ或ハ有様ガ成

立ナツ、アルヲ極メル、余ガ出立スル、余ガアル、ノ如シ

直說法ノ半過去ハアル過ギタル時ニ於テ働キガ出來或ハ有様ガ成

立ナシ、ヲ極メル、余ガ出立セシ、余ガアリシ、ノ如シ

直說法ノ過去ハ現在ノ時ニ於テ十分サル、トシテ過ギタル働キ或ハ有様ヲ極メル、余ガ出立シタ、余ガ有タ、ノ如シ

直說法ノ大過去ハアル他ノ過ギタル時ニ或ハ前ニ十分サル、トシテ過ギタル働キ或ハ有様ヲ極メル、余ガ出立シタリシ、余ガ有タリシ、ノ如シ

直說法ノ第一未來ハ働キガ將サニ出來可クアリ或ハ有様ガ成立

ツ可クアルヲ極メル、余ガ出立スルデアラフ、余ガアルデアラフ、ノ如シ

直說法ノ第二未來ハアル他ノ未來ノ時ニ或ハ前ニ將サニ十分サル可クトシテ未來ノ働キ或ハ有様ヲ極メル、余ガ出立シタデアラフ

「余が有タデアラフ」ノ如シ

○直説法ノ此等ノ時ヲ通シテ Love ナル働詞ヲ實施セヨ

現在 余が愛スル 大過去 余が愛シタリシ

半過去 余が愛セシ 第一未來 余が愛スデアラフ

過去 余が愛シタ 第二未來 余が愛シタデアラフ

○ *have* ハ如何ナル時ノ徴チアル乎 ○ *Had* ハ ○ *Shall* ハ ○ *Shall have* ハ ○

此等ノ言カ何ント名付ラル、乎 ● 助働詞

第四十四課

○幾許ノ時ガ許可法ニ於テアル乎 ● 四ツ現在、半過去、過去及ヒ大過去

○如何ナル時ガ許可法ニ於テ欠テアル乎 ● ニツノ未來 ○未來ハ時ト

シテ現在及ヒ半過去ノ許可法ニ因テ顯ハサル、「汝ハ明日行キ得ル」

「彼ガ言シ彼ハ明日行シデアラフト」ノ如シ

○許可法ニ於テノ働詞ハ一般ニ何ニテ含ミナス乎 ● 許ルシ出來ヘキ

一、能力、要用、決定、或ハ務メ

○許可法ノ時ヲ通シテ Love ナル働詞ヲ施コセ

現在 I may, can, must, 或ハ need Love.

半過去 I might, could, would, 或ハ should love.

過去 I may, can, must, 或ハ need have loved.

大過去 I might, could, would, 或ハ should have loved.

第四十五課

○附屬法ハ何ニテ顯ス爲メニ用ヒラレ、乎 ● 第一約束「モシモ汝ガ其

レヲ願フナラハ余ガ止ルデアラフ」ノ如シ

第二、假り定メ「假令ヒ彼ハ余ヲ殺スト雖モ尙ホ余ガ彼レニ於テ任セ

ルデアラフ」ノ如シ

第三、願「ア、彼レガ其處ニアリシ」ノ如シ

○附屬法ハ幾許ノ時ヲ持ツ乎 ● ニツ、現在及ヒ半過去

○ Love ナル動詞ノ二ツノ附属法ノ時ヲ與ヘヨ
附属現在 If I love. 附属半過去 If I loved.

○ 何ニガ一般ニ附属法ニ於テノ動キニ先立ナナス乎 ● If, that, though, lest, unless, 或ハアル他ノ接續詞 ○ 然レナガラ是等ノ接續詞ハ直説法或ハ許可法ニ因テ次カレ得ル

○ 命令法ハ何ニテ顯シナス乎 ● 命令、願ヒ、諫メ、或ハ許シ「話シナス」月曜日迄止マレ」ノ如シ

○ 命令法ハ幾許ノ時ヲ持ツ乎 ● 現在ナル唯一ツ「汝愛セヨ」ノ如シ

○ 何ニガ一般ニ使令法ニ於テ動詞ノ主デアル乎 ● 畧サレタル Thou 或ハ you ガ「汝話シ爲スナ」(汝)月曜日マデ止マレ」Monday.」

第四十六課

○ 動詞ガ法及ビ時ノ外カニ如何ナル性質ヲ持ツ乎 ● 人稱及ビ數

○ 動詞ノ人稱及ビ數ハ何ニノ上ニ關係シナス乎 ● 其レノ主ノ人稱及

ビ數ノ上ニ

「余ガ願フ」pray ト云フ言ハ單數ノ第一人稱デアルトナル其レノ主ガ單數ノ第一人稱デアル故ニ

「汝ガ願フ」prayest ハ單數ノ第二人稱デアル thou ガ單數ノ第二人稱デアル故ニ

「彼ガ願フ」prays ハ單數ノ第三人稱デアル he ガ單數ノ第三人稱デアル故ニ

「余輩ガ願フ」pray ハ複數ノ第一人稱デアル we ガ複數ノ第一人稱デアル故ニ

「汝ガ願フ」pray ハ複數ノ第二人稱デアル you ガ複數ノ第二人稱デアル故ニ

「彼等ガ願フ」pray ハ複數ノ第三人稱デアル they ハ複數ノ第三人稱デアル故ニ

○人稱及ビ數ヲ持ツ所ノ働詞ハ何ント名付ラル、乎●定働詞
○人稱及ビ數ヲ持タヌ所ノ働詞ハ如何ナル法ニ於テアル乎●不定法
ニ於テ

○不定法ハ何ニテ顯シナス乎●主ニ極メラレヌ働キ或ハ有様ヲ
○不定法ガ幾許ノ時ヲ持ツ乎●ニツ不十分ノ働キ或ハ有様ヲ顯ス所
ノ現在及ビ過去其レハ十分サル所ノモノヲ顯ス

○Loveナル働詞ノ此等ノ二ツノ時ヲ與ヘヨ
不定、現在、「愛ス可ク」不定、過去、「愛サル可ク
スハ不定法ノ徴デアアルヲ氣付ヨ

○五ツノ法ノ何レガ問ヒテ問フコトニ於テ用ヒラレ得ル乎●唯直說法
及ビ許可法、「偽リガ勝ツデアラフカ」信トガ亡ビ得ルカ」ノ如シ

第四十七課

彼ハ彼ノ主人ニ謝セシ而シテ彼ノ暇乞ヲ取リシ

彼レノ主人ニ謝ストコロデ彼レハ彼ノ暇乞ヲ取リシ

○汝ハ此等ノ文章ニ於テ如何ナル異ヒヲ目付ケナス乎●彼等ハ同シ
考ヒテ與ヘル、然シナガラ最初ハ謝スルヲ極メル、第二ハ其レヲ假
リ取ルノミ

○働キヲ假リ取ル所ノ *thankings* ナル言ハ何ニト名付ケラル、乎●分
詞○分詞ハ働詞ニ属スル

○分詞ハ何ンデアアル乎●分詞ハ一般ニ其レト結ヒ付キニ於テアル働
キ或ハ有様ヲ取ルコトニ因テ實名詞ノ意味ヲ極メ則チ限ル所ノ働詞
ノ形ヲデアアル

○幾許ノ分詞ガ其處ニアル乎●三ツ、現在、過去、及ビ組立テ過去、則チ

現在 愛シツ、 過去 愛セシ
組立過去 愛シタトコロデ

○分詞ハ何ニト混雜サレテハナラヌ乎●同シ形ヲ持ツ形容詞ト○

兩方が實名詞ヲ極メル然シナガテ分詞ハ加ヘテ働キ或ハ有様ヲ含ム、而シテ定働詞ノ如ク目的ヲ支配シ得ル○箇様コ

形容詞「旅スル書キ役」面白キ話シ「尊マレタル朋友」凋タル花

「昔キ役ガセオルシヤニ於テ旅シツ」、「話ヲモツテ余輩ヲ樂マセツ」、「總テノ人ニ因テ尊敬サレタル」然ニ因テ滿タル花

○分詞ハ常ニ實名詞ナシニ用ヒラル、乎●然リ、而シテ其レハ然ルキ獨立ニ用ヒラル、トト言ハル、「一般ニ話ストコロデ人殺シガ發覺スルテアラフ」ノ如シ

○屢々關係ナシ用ヒラレタル分詞ハ何ニノ目的デアアル乎●前置詞ノ「能ク暇ムコトノ術」ノ如シ

第四十八課

○働詞ヲ配合スルコトニ因テ何ニガ意味サル、乎●其レノ法、時、人稱及ヲ通レテ其レヲ送ルコトガ

○如何ニ余輩ガ配合スルコトニ於テ人稱ヲ區別シナス乎●單數ニ於テ

I, thou, he ナル代名詞ヲ前加ヘスルコトニ因テ、複數ニ於テハ *we, you, they,*

○是等ノ言ガ働詞ノ部分ヲ造リ爲ス乎●否ラズ、彼等ハ別々ニ分解サ

レネハナラス

BE. ナル移リ行カザル働詞ノ直說法ヲ通シテ行ケ

直說法

現在

單數

一 私ガアル

二 汝ガアル

三 彼ガアル

人稱

複數

一 余輩ガアル

二 汝等ガアル

三 彼等ガアル

半過去

單數

複數

一 私ガアリシ

一 余輩ガアリシ

二 汝ガアリシ

二 汝等ガアリシ

三 彼ガアリシ

三 彼等ガアリシ

過去

一 私ガアリタ

一 余輩ガアリタ

二 汝ガアリタ

二 汝等ガアリタ

三 彼ガアリタ

三 彼等ガアリタ

大過去

一 余ガアツタリシ

一 余輩ガアリタリシ

二 汝ガアリタリシ

二 汝等ガアリタリシ

三 彼ガアリタリシ

三 彼等ガアリタリシ

第一未來

一 私ガアルデアラフ

一 余輩ガアルデアラフ

二 汝ガアルデアラフ

二 汝等ガアルデアラフ

三 彼ガアルデアラフ

三 彼等ガアルデアラフ

第二未來

一 私ガアリタデアラフ

一 余輩ガアリタデアラフ

二 汝ガアリタデアラフ

二 汝等ガアリタデアラフ

三 彼ガアリタデアラフ

三 彼等ガアリタデアラフ

第四十九課

○定働詞ノ一致ニ向テ第十一規則ヲ述ヘヨ

第十一規則―働詞ハ人稱及ビ數ニ於テ其レノ主ト一致スル

分解スル式―「時ガスベテノ物ヲ變スル而シテ余輩ガ亦變セネハナラ

ズ」

BEナル働詞ノ許可法ヲ與ヘヨ

許可法

現在

單數

複數

- 1. I may, can, must, or need be, 1. We may, can, must, or need be,
- 2. Thou mayst, canst, must, or needst,* be, 2. You may, can, must, or need be,
- 3. He may, can, must, or need be; 3. They may, can, must, or need be.

半過去

- 1. I might, could, would, or should be, 1. We might, could, would, or should be,
- 2. Thou mightst, couldst,* wouldst,* or shouldst,* be, 2. You might, could, or should be,
- 3. He might, could, would, or should be, 3. They might, could, would, or should be,

* 例、トホノ字ヲ持テ或ハ無マニ mayst, canst, must, or needst, 或ハ needst,

過去

過去

- 1. I may, can, must, or need have been, 1. We may, can, must, or need have been
- 2. Thou mayst, canst, must, or needst have been, 2. You may, can, must, or need have been,
- 3. He may, can, must, or need have been; 3. They, may, can, must, or need have been

大過去

- 1. I might, could, would, or should have been, 1. We might, could, would, or should have been,
- 2. Thou mightst, couldst, wouldst, or shouldst have been, 2. You might, could, would, or should have been,
- 3. He might, could, would, or should have been, 3. They might, could, would, or should have been,

第五十課

○不定法ニ於テノ働詞ハアル主人稱或ハ數ヲ持ツ乎 ●不定法ニ於テノ働詞ハ用ヒラテノ働詞ハ如何ニ用ヒラレ得ル乎 ●不定法ニ於テノ働詞ハ用ヒラ

レ得ル

第一、定働詞ノ主トシテ、「迷フコトハ人ノ性デアル」ノ如シ○*or* ナル不定法ハ、*as* ナル定働詞ノ主デアル

第二、アル他ノ言ノ意味ヲ極メル爲メニ「余ハ行クヲ願フ如何トナレハ左様ニ爲スコト」ソレガ余ノ務デアル故コ」ノ如シ○*To go* ハ *wish* ナル働詞ノ意味ヲ極メル、*as do* ハ *duty* ナル名詞ノ意味ヲ極メル
第三、不定法ハ關係ナク用ヒラレ得ル、「明カニ話スベシ余ハ汝ヲ疑フ」ノ如シ

○分解スルコトニ於テ如何ナル規則ガ不定法ニ向テ與ヘラレネハナラヌ乎○第十二規則—不定法ニ於テノ働詞ハ主トシテ用ヒラル、或ハアル他ノ言ノ意味ヲ極メル或ハ文章ニ於テ獨立ニ立ツ
分解スル形式—「信トテ話ス爲メニ余ハ虚言者デアルベシ汝ヲ取ル」
附ナル働詞ノ附屬法、使令法、不定法及ビ分詞ヲ與ヘヨ

附屬法

現在

單數

- 1. If I be,
- 2. If thou be,
- 3. If he be,

複數

- 1. If we be,
- 2. If you be,
- 3. If they be,

半過去

- 1. If I were,
- 2. If thou were,
- 3. If he were,

- 1. If we were,
- 2. If you were,
- 3. If they were,

使令法

現在

- 1. Be I,

- 1. Be we,

2. Be thou or do thou be, 2. Be you or do you be,
3. Be he; 3. Be they.

不定法

現在 To be.

過去 To have been.

分詞

現在 Being.

過去 Been.

組立現在 Having been

第五十一課

○同ヲ法及ビ時ニ於テノニツ以上ノ働詞ガ結ビ付ラル、其ニ助詞ガ各々ト共ニ用ヒラレネハナラヌ乎 ●否ラズ助詞ハ唯一般ニ最初ノモノト共ニ用ヒラル、

○例ヲ與ヘヨ

「都府ガ興リ榮ヘ而シ衰ヘ得ル」○最初ノ働詞ノミガ顯サレタル助詞ヲ持ツ○ Flourish 及ビ Decay ハ畧サレタル其レヲ持ツ而シテ許可法

ノ現在ナル may rise ノ如ク同ヲ法及ビ時ニ於テアル

○助詞ガ常ニ唯顯サレ而シ重モナル働詞ガ略サル、乎 ●其レハアル「余ガ行キ得ルカ」「汝ハ得ル」ノ如ク○許可法等ニ於テ may go, ニ向テ用ヒラレタル助詞ノ如ク may ヲ分解セヨ

○分詞ヲ分解スルコトニ於テ如何ナル規則ガ與ヘラレテハナラヌ乎 ●第十三規則—分詞ハ獨立ニ用ヒラル、或ハ其レノ意味ヲ彼等ガ極メ即チ限ル所ノ實名詞ニ關係スル
分解スル形式○「微笑シツ、彼ガ言シ其處ニ常ニ貧人ヲ助タコトニ於テ満足ガアル」

第五十二課

働キカケノ仕方ノ配合

アラユル働詞ノ手本トシテ用立ツデアラフ所ノ RULE ナル働詞ハ働キカケノ仕方ニ於テ次ギノ如ク配分サル、

2. Be thou or do thou be, 2. Be you or do you be,
3. Be he; 3. Be they.

不定法

現在 To be.

過去 To have been.

分詞

現在 Being.

過去 Been.

組立現在 Having been

第五十一課

○同シ法及ビ時ニ於テノニツ以上ノ働詞ガ結ビ付ラル、此ニ助詞ガ各々ト共ニ用ヒラレネバナラヌ乎●否ラズ、助詞ハ唯一般ニ最初ノモノト共ニ用ヒラル、

○例ヲ與ヘヨ

「都府ガ興リ榮ヘ而シ衰ヘ得ル」○最初ノ働詞ノミガ顯サレタル助詞ヲ持ツ○ Flourish 及ビ decay ハ零サレタル其レヲ持ツ而シテ許可法

ノ現在ナル may rise ノ如ク同シ法及ビ時ニ於テアル

○助詞ガ常ニ唯顯サレ而シ重モナル働詞ガ略サル、乎●其レハアル「余ガ行キ得ルカ」汝ハ得ル」ノ如シ○許可法等ニ於テ may go, ニ向テ用ヒラレタル助詞ノ如ク may チ分解セヨ

○分詞ヲ分解スルトニ於テ如何ナル規則ガ與ヘラレチバナラヌ乎●第十三規則―分詞ハ獨立ニ用ヒラル、或ハ其レノ意味ヲ彼等ガ極メ即チ限ル所ノ實名詞ニ關係スル

分解スル形式○「微笑シツ、彼ガ言シ其處ニ常ニ貧人ヲ助メコトニ於テ満足ガアル」

第五十二課

働キカケノ仕方ノ配合

アラユル働詞ノ手本トシテ用立ツデアラフ所ノ R D L E ナル働詞ハ働キカケノ仕方ニ於テ次ギノ如ク配分サル、

直說法

現在

單數

- 1. I rule *or* do rule,
- 2. Thou rulest *or* dost rule,
- 3. He rules *or* does rule;

複數

- 1. We rule *or* do rule,
- 2. You rule *or* do rule,
- 3. They rule *or* do rule.

半過去

- 1. I ruled *or* did rule,
- 2. Thou rulest *or* didst rule,
- 3. He ruled *or* did rule;

- 1. We ruled *or* did rule,
- 2. You ruled *or* did rule,
- 3. They ruled *or* did rule.

過去

- 1. I had ruled,
- 2. Thou hast ruled,
- 3. He has ruled;

- 1. We had ruled,
- 2. You had ruled,
- 3. They had ruled.

大過去

- 1. I had ruled,
- 2. Thou hadst ruled,
- 3. He had ruled;

- 1. We had ruled,
- 2. You had ruled,
- 3. They had ruled.

第一未來

- 1. I had ruled,
- 2. Thou hadst ruled,
- 3. He had ruled;

- 1. We had ruled,
- 2. You had ruled,
- 3. They had ruled.

第二未來

- 1. I shall *or* will have ruled,
- 2. Thou shalt *or* wilt have ruled,
- 3. He shall *or* will have ruled;

- 1. We shall *or* will have ruled,
- 2. You shall *or* will have ruled,
- 3. They shall *or* will have ruled.

許可法

現在

- 1. I may, can, must or need rule,
- 2. Thou mayst, canst, &c., rule,
- 3. He may, can, &c., rule;

- 1. We may, can, must, or need rule,
- 2. You may, can, &c., rule,
- 3. They may, can, &c., rule.

● 誦讀スルニ於テハ常ニシテハ助詞ナクシテ
must, or needs, ruled.

半過去

- 1. I might, could, would, or should rule,
- 2. Thou might, &c., rule;
- 3. He might, &c., rule;

- 1. We might, could, would, or should rule
- 2. You might, &c., rule,
- 3. They might, &c., rule.

過去

- 1. I may, can, must, or need have ruled,
- 2. Thou mayst, &c., have ruled,
- 3. He may, &c., have ruled;

- 1. We may, can, must, or need have ruled,

- 2. You may, &c., have ruled,
- 3. They may, &c., have ruled,

大過去

- 1. I might, &c., have ruled,
- 2. Thou mightst, &c., have ruled,
- 3. He might, &c., have ruled;

- 1. We might, &c., have ruled,
- 2. You might, &c., have ruled,
- 3. They might, &c., have ruled,

附屬法

現在

- 1. If I rule or do rule,
- 2. If thou rule or do rule,
- 3. If he rule or do rule;

- 1. If we rule or do rule,
- 2. If you rule or do rule,
- 3. If they rule or do rule,

半過去

- 1. If I ruled or did rule,

- 1. If we ruled or did rule,

- 2. If thou ruled *or* did rule,
- 2. If you ruled *or* did rule,
- 3. If he ruled *or* did rule;
- 3. If they ruled *or* did rule,

使令法

現在

- 1. Rule I,
- 1. Rule we,
- 2. Rule thou *or* do thou rule,
- 2. Rule you *or* do you rule,
- 3. Rule he;
- 3. Rule they,

不定法

現在 To rule.

過去 To have ruled

分詞

現在 Ruling.

過去 Ruled.

組立過去 Having ruled,

第五十三課

○何時余輩が^{to}及ビ^{did}チ含ム現在及ビ半過去ノ直説法ノ形ナシ

用ヒナス乎●打ち消シカ顯サル、キ或ハ勢語カ望マル、キニ「汝ハ余チ愛シナサヌ」○「余ハ汝チ愛シナス」ノ如シ

○現在ノ直説法ノ働キノ第三人稱ノ單數ニ於テ如何ナル他ノ形ナガ時トシテ用ヒラルル乎●thニ於テ畢ル正シキ形ナガ「彼ハ支配スル」

○單ナル人ニ話シカクルコニ於テ働詞ノ如何ナル人稱及ビ數チ余輩ガ通常用ヒナス乎●^{thou rulest}チハナラ^{you rule,}ナル複數ノ第二人

稱チ○然シナガラ祭詞及ビ詩ニ於テ余輩ガ^{thou rulest.}ト云フ

○半過去ノ直説法ニ於テ如何ナル他ノ形ナチ余輩ガ時トシテ見出シナス乎●半過去ノ直説法ノ第二人稱ノ單數ニ於テstガ時トシテ廢

セラル、^{thou ruledst.}ノ代リニ^{thou ruled}ノ如シ

○分詞チ極メル實名詞ニ關係シタル第十四規則チ述ベヨ

第十四規則――分詞ニ因テ極メラル、コノ代リニ終リノモノチ極メル爲メニナサル、所ノ實名詞ハ領格ニ於テ置カル、

○例ヲ與ヘヨ

「余ガ書キツ、ジョンヲ見シ」○其處ニ John ナル名詞、writing ナル分詞ニ因テ極メラル、而シテ saw ナル働詞ノ目的ヲ目的格ニ於テアル「余ガ左様ニ能クジョンノ書ク」ニ於テ驚カサレシ」○此處ニ John's ハ writing, ナル分詞ヲ極メルベク爲サル、而シテ領格ニ於テ置カル、

第五十四課

受ケ方ノ仕方ノ配合

○受ケ方ノ仕方ノ時ハ如何ニ造ラル、乎 ● be ナル助詞ノ一致スル時ト過去分詞ヲ結ビ付ルコトニ因テ RULE ナル移リ行キ働詞ハ受ケ方ノ仕方ニ於テ次ギノ通り配合サ

直説法

現在

單數

- 1. I am ruled,
- 2. Thou art ruled,
- 3. He is ruled;

複數

- 1. We are ruled,
- 2. You are ruled,
- 3. They are ruled.

半過去

- 1. I wds ruled,
- 2. Thou wast or wert ruled,
- 3. He was ruled;

- 1. We were ruled,
- 2. You were ruled,
- 3. They were ruled.

過去

- 1. I have been ruled,
- 2. Thou hast been ruled,
- 3. He has been ruled;

- 1. We have been ruled,
- 2. You have been ruled,
- 3. They have been ruled.

大過去

- 1. I had been ruled,
- 2. Thou hadst been ruled,
- 3. He had been ruled;

- 1. We had been ruled,
- 2. You had been ruled,
- 3. They had been ruled.

第一未來

- 1. I shall *or* will be ruled,
- 2. Thou shalt *or* wilt be ruled,
- 3. He shall *or* will be ruled;

- 1. We shall *or* will be ruled,
- 2. You shall *or* will be ruled,
- 3. They shall *or* will be ruled.

第二未來

- 1. I shall *or* will have been ruled,
- 2. Thou shalt *or* wilt have been ruled,
- 3. He shall *or* will have been ruled;

- 1. We shall *or* will have been ruled,
- 2. You shall *or* will have been ruled,
- 3. They shall *or* will have been ruled.

許可法

現在

- 1. I may, can, must, *or* need be ruled,
- 2. Thou mayst, &c, be ruled,
- 3. He may, &c, be ruled;

- 1. We may, can, must, *or* need be ruled,
- 2. You may, &c, be ruled,
- 3. They may, &c, be ruled.

半過去

- 1. I might, could, would, *or* should be ruled,
- 2. Thou mightst, &c, be ruled,
- 3. He might, &c, be ruled;

- 1. We might, could, would *or* should be ruled,
- 2. You might, &c, be ruled,
- 3. They might, &c, be ruled.

假令

- 1. I may, can, must, *or* need have been ruled,
- 2. Thou mayst, canst, must, *or* needst

- 1. We may, can, must, *or* need have been ruled,
- 2. You may, can, must, *or* need have

have been ruled,

been ruled,

3. He may, can, must, or need have
been ruled;

1. They may, can, must, or need have
been ruled.

大過去

1. I might, could, would, or should
have been ruled,

1. We might, could, would, or should
have been ruled,

2. Thou mightst, &c., have been ruled,
3. He might, &c., have been ruled;

2. You might, &c., have been ruled,
3. Thy might, &c., have been ruled.

附屬法

現在

1. If I be ruled,
2. If thou be ruled,
3. If he be ruled;

1. If we be ruled,
2. If you be ruled,
3. If they be ruled.

半過去

1. If I were ruled,
2. If thou were ruled,
3. If he were ruled;

1. If we were ruled,
1. 2. If you were ruled,
3. If they were ruled.

使令法

現在

1. Be I ruled,
2. Be thou or do thou be ruled,
3. Be he ruled;

1. Be we ruled,
2. Be you or do you be ruled,
3. Be they ruled.

不定法

現在 To be ruled.
分詞

過去 To have been ruled.

現在 Being ruled.

過去 Ruled.

組立過去 Having been ruled.

第五十五課

○アル働詞が如何ナル別ノ形ヲ持テ爲ス乎 ●進ニ行キノ形ヲト名付ラレタル、續キテ含ム形ヲ

○進ニ行キノ形ヲハ如何ニ爲サル、乎 ●Beナル助詞ノ種々ノ部分ト
ingニ於テノ分詞ヲ結ビ付ルニ因テ、「余ガ支配シテアル」「余ガ支配シテアリシ」等ノ如シ

○如何ナル働詞ガ進ニ行キノ形ヲ持タヌ乎 ●其レノ單ナル形ヲガ續キ、テ顯ハス所ノ働詞、愛スル、思ヒ出ス、ノ如シ
兩數ニ於テ總テノ人稱ヲ與ヘツ、RULEナル働詞ノ進ニ行キノ形ヲ述ベヨ

進ニ行キノ形ヲ

直説法

現在—I am ruling, thou art ruling, he is ruling, &c.

半過去—I was ruling, thou wast or wert ruling, &c.

過去—I have been ruling, thou hast been ruling, &c.

大過去—I had been ruling, thou hadst been ruling, &c.

第一未來—I shall or will be ruling, thou shalt or wilt, &c.

第二未來—I shall or will have been ruling, &c.

許可法

現在—I may, can, must, or need be ruling.

半過去—I might, could, would, or should be ruling.

過去—I may, can, must, or need have been ruling.

大過去—I might, could, would, or should have been ruling.

附屬法

現在—If I be ruling, if thou be ruling, &c.

半過去—If I were ruling, if thou were ruling, &c.
使令法

現在—Be thou ruling or do thou be ruling, &c.
不定法

現在—To be ruling. 過去—To have been ruling.
分詞

現在—Ruling. 組立過去—Having been ruling.

第五十六課

○働詞ノ根元ニ因テ、余輩ガ何ニテ意味シナス乎●○ナル徴ルシ無シ
ノ現在不定法、譬ヘバ「支配スル」

○働詞ノ三ツノ重セナル部分ハ何ンデアル乎●根元、半過去、ノ直説法
及ビ過去分詞即チ支配スル、支配セシ、支配サル、
○半過去直説法、及ビ過去分詞ハ一般ニ如何ニ形造ラル、乎●根元ニ

edチ添ヘルトニ因テ、歩ム、歩ミシ、歩ミタル、ノ如シ

○此部分チ箇様ニ形造ル所ノ働詞ハ何コト名付ラル、乎●規則働詞

○Walkハ規則働詞デアル

○是等ノ部分ノ各々ニ於テ二ツノ形チ持チ、或ハ根元ニedチ添ヘル
トニ因テ彼等チ造リ爲サヌ所ノ働詞ハ何コト名付ラル、乎●不規
則働詞ト、起ル、起リシ、起リタル、ノ如シ

○失フ、失ヒシ、失フタル、ハ規則或ハ不規則働詞デアアル乎○吹ク、吹キシ、吹
キタルハ如何○來ル、來リシ、來ル、ハ如何○助ケル、助ケシ、助ケタルハ如何

○edチ添ヘルトノ前ニ規則働詞ノ根元ニ於テ如何ナル變化ガ時トシ
テ爲サレテハナラヌ乎●第一、結尾ノeハ棄テラル、即チ支配スル
支死セシ、

第二、子韻ニ因テ先立タル、結尾ノeハeニ變セララル、即チ叫ブ、叫
ビシ、

第三、一熟音ノ結尾ノ子韻、或ハ終リノ熟音ノ上ニ強ク發聲サル、働詞ノ結尾ノ子韻ハ重複サル、即チ總付ル、總付シ、廢スル、廢セシ、母韻ニ因テ先立タル結尾ノニハ、ニ變ゼラレヌトチ氣付ヨ、游ブ、游ビシ、ノ如シ

終リノ熟音ノ上ニ強ク發聲サレヌ働詞ハ其レノ結尾ノ子韻チ重複シナサヌ、妨ゲル、妨ゲシ、ノ如シ

○分解スルトニ於テ何時余輩ガ三ツノ重モナル部分チ記シナス乎
分解スルトニ於テ、余輩ハ働詞ガ規則、或ハ不規則デアアル乎チ示メス而シテ其レガ不規則デアアルナラハ、余輩ガ其レノ三ツノ重モナル部分チ述ブル
分解スル形式―彼ガ起チ而ノ余輩チ請ケシ

第五十七課

單ナル不規則働詞ノ表

重モナル單ナル不規則働詞ノ部分ハ次ノ表ニ於テ顯ハサル、單ナル働詞ハ彼等カラ形造ラレタル其レ等ニ向テノ手本トシテ用立ツデアラフ、其處カラシテ終リノモノハ別ニ與ヘラレヌ○故ニ *overtake* ハ *take* ノ如ク行ク、*overtake*、*overtook*、*overtaken*。

アル働詞ハ彼等ノ不規則ノ形チノ外カニ於テ規則通りノモノチ持ツ○此レハ、*build* ナル文字ニ因テ表ノ中ニ顯ハサル、○表ニ於テ與ヘラレタル順序ニ於テ爾ツノ形チチ述ベヨ○*Build*、*built*、或ハ *builded*、*built*、或ハ *builded*

伊太利文字ニ於テノ形チ、或ハ、ナル伊太利文字ニ因テ顯ハサレタル規則通りノ形チハ、ト度ビ許サル、トハ雖モ今マ善キ用ヒニ於テアラヌ○其處ニ二ツノ形チガアルトキハ、撰ムベキモノハ最初ニ置カル、

下タニ於テ演習法チ以タル働詞ノ各ノ紙葉ガ課チ組立テ得ル○半

過去ノ直説法カ過去分詞ノ代リニ用ヒラレテハナラヌ、尙ホ過去分詞ガ半過去ノ直説法ノ代リニ用ヒラレテハナラヌ、後トニ名詞、代名詞、冠詞、形容詞及ヒ働詞ガ分解サレ得ル(第七十六丁上ノ形ヲ見ヨ)

根元 半過去 過去分詞

住スル 住ミシ 住ミタル

昇ル 昇リシ 昇リタル

起ス 起キシ 起キタル

以下唯ニ根元ノミチ擧グ宜シク右ニ倣フベシ

アル 荷フ 生ズル 敲ク 始メル

見ル 曲グル 求メル 博奕スル 命ス

結ビ付ル 噛ム 刺路スル 混ズル 吹ク

破ブル 育テル 持テ來ス 建ル 焼ク

破ブル 買フ 投ル 獲ル 非難スル

撰ブ 粘着スル 裂ル 粘着スル 覆ム

來ル 價スル 這ウ 叫ブ 切ル

敢テスル 分ケル 堀ル 泳ル 爲ス

引ク 夢ミル 飲ム 追ヒヤル 住ム

食ウ 落ル 養フ 感スル 戦フ

見出ス 逃ゲル 投ケル 飛ブ 堪ヘル

忘レル 免ルス 見捨ル 凍ル 得ル

帶スル 與ヘル 行ク 磨ル 長ズル

掛ケル 持ッ 聞ク 打伐ル 隠ス

當テル 保ッ 傷ケル 保ッ 跪ク

編ム(メリヤスヲ)知ル 置ク 導ク 傾ク

遣コス 貸ス 免ル 横タハル 輝ラス

失フ	爲ス	目ザス	會フ	刈ル
拂フ	言開キスル	置シ	免ル	續ム
裂ク	免ルス	乗ル	ヒツカセル	起ル
焙ル	走ル	鋸切ル	言フ	見ル
求メル	賣ル	送ル	置シ	震フ
形ヲ造ル	測ル	剪ミ切ル	注ボス	照ラス
谷履ク	射ル	顯ハス	縮ム	閉ル
謠フ	沈ム	坐ス	殺ス	睡ル
滑ル	投ル	這ヒ出ス	裂ク	打チ殺ス
峙ク	話ス	急グ	費ヤス	撓ク
紡グ	唾吐ク	裂ク	廣ゲル	飛ビ上ル
立ツ	止マル	盜ム	衝キ刺ス	刺ス
臭フ	踏歩スル	打ツ	紐付ル	魅メル

峙キ散ラス	摺フ	汗スル	箒ク	膨脹スル
泳ク	振ル	取ル	教ヘル	裂ク
話ス	考ヘル	榮ヘル	投ル	衝ク
踏ム	目覺ス	着ル	織ル	婚姻スル
泣ク	濕ス	得ル	卷ク	仕事スル
絞ル	書ク			

第五十八課

○欠亡働詞ハ何ンデアル乎 ●欠亡働詞ハ其レノ部分ノアルモノチ欠ク所ノモノデアル ○重モナル欠亡働詞ハ *ought* 'be aware' *methinks* 及ビ *me seems* デアル

○如何ナル時ニ於テ *ought* ハ顯ハレナス乎 ●*ought* ハ唯、現在、及ビ半過去ノ直説法及ビ附属法ニ於テ顯ハル、○其レハ箇様ニ配合サル、
現在、及ビ半過去ノ直説法

- 一 余ガ属ス 余輩ガ属ス
- 二 汝ガ属ス 汝等ガ属ス
- 三 彼ガ属ス 彼等ガ属ス

現在、及ビ半過去ノ附属法

- 一 若シ余ガ属スナラバ 若シ余輩ガ属スナラバ
- 二 若シ汝ガ属スナラバ 若シ汝等ガ属スナラバ
- 三 若シ彼ガ属スナラバ 若シ彼等ガ属スナラバ

○如何ナル時ニ於テ *Beware* ハ顯ハレ爲ス乎 ● *de* 及ビ *ware* カラ組立
 テラレタル、*Blvare* ハ *be* ナル働詞ニ於テ *be* ナ保ツ所ノ其等ノ時
 ニ於テ唯、用ヒラル、

直説法第一未來—I shall or will beware, thou shalt or wilt, &c.

許可法現在—I may, can, must, or need beware,

同半過去—I might could, would, or should beware,

附属法現在—If I beware, if thou beware, &c.

使令法現在第二人稱—Beware thou, beware you,

不定法現在—To beware,

○ *methinks* 及ビ *me seems* ハ如何ナル部分ニ於テアル乎 ● 「其レガ余ニマ
 テ見エル」ヲ意味シテ、*Nethinks* 及ビ *me seems* ハ直説法、現在第三
 人稱單數ニ於テアル

○如何ナル他ノ部分ニ於テ亦彼等ガ用ヒラル、乎 ● 半過去ノ直説法
 ノ第三人稱ノ單數ニ於テ—*methought* 及ビ *me seemed*.

○ *methought* 及ビ *me seemed* ハ何ント名付ケラル、乎 ● 一人働詞ト、如何
 ントナレバ彼等ハ唯一ツノ人稱ニ於テ用ヒラル、故ニ○彼等ハ決
 シテ主ヲ免ルサヌ、而シテ其處カラシテ分解スルトニ於テ規則ガ彼
 等ノ一致ニ向テ與ヘラレ得ヌ
 分解スル形式—「余思ヘラッ汝ハ此ノ如キ虚妄ノ朋友ニ氣付ケ可シ

○言語ノ第六ノ部分ハ何ンデアル乎●副詞

○余ガ「彼ガ速カニ甚ダ怒テナリシ」ト云フキハ、*became*ナル働詞ガ何ニ
ニ因テ極メラル、乎●何時彼レガ怒リテナリシ乎ヲ話ス所ノ *soon*
ニ因テ

○ *anyly* ナル形容詞ハ何ニニ因テ變形サル、乎●彼レガ如何ニ怒リ
テアル乎ヲ話ス所ノ *very* ニ因テ

○ *soon, very* 及ビ左様ニ用ヒラル、他ノ詞ハ何ント名付ケラル、乎●
副詞

○副詞ハ其他何ニテ極メ得ル乎●他ノ副詞ヲ「彼レハ甚ダ怒テ話セシ」
ノ如シ

○副詞ハ何ンデアル乎●副詞ハ方法、時、場所、階級等ヲ顯ワス詞デアル
而レテ一般ニ働詞、形容詞或ハ他ノ副詞ヲ極メル爲ニ用ヒラレタ
ル詞デアル

○彼等ノ意味ニ從テ整調サレタル副詞ノ例子與ヘヨ
次ノモノガ副詞ノ例デアル

第一、仕方ノ副詞―如何ニ、箇様ニ、左様ニ、善ク、惡シク、ドウデモ、否ラザ
レバ、徐々ニ、及ビ、ニ於テ畢ル最モ多クノ言

第二、時ノ副詞―何時カ、然ルキ、今、既ニ、以前、今日、昨日、明日、速カニ、早ク
日々、稀ニ、屢々、嘗テ、常ニ、

第三、場所ノ副詞―何處ニカ、此處ニ、其處ニ、何處テモ、何地ラデモ、此地
ヲニ、其地ヲニ、何處カラ、其處カラ、此レカラ、彼方ニ、離レテ、遠ク、上ニ下
タコ、

第四、階級ノ副詞―多ク、少ク、甚ダ、非常ニ、大ニ、全ク、十分、一樣ニ、辛シテ

殆ソド、大低、

第五、定メノ副詞―然リ、然リ、慥カニ、實ニ、實ニ、疑ナク、全上、カナラズ、

第六、否、ミ、ノ副詞―否ナ、全上、全上、絶テアラヌ、ドウシテモアラヌ、決シ

テアラヌ、

第七、可成副詞―多分ハ、全上、全上、全上、

第八、數ノ副詞―第一ニ(其レハ *firstly* = 撰ムベクアル所ノ)第二ニ、第

三ニ、等一度ビ、二度ビ、三度ビ、

○副詞ノ何ノ種類ガ最モ多クアル乎●方法ノ副詞ガ○是等ノ多クハ
ツナ添ヘルコトニ因テ形容詞カラ形造ラルル、粗ナルカラ粗ニ、ノ如シ

第六十一課

○同シ詞ガ常ニ一ツノ文章ニ於テ副詞トシテ見ヘ而シ他ノ文章ニ於
テ文章ノ他ノ部分トシテ見ヘナス乎●其レハ次ノ例ニ於テノ如ク
爲ス

「彼ガ明日[副詞]出立スルデアラフ」「明日ガ[名詞]決シテ來リ得ヌ」「唯[副詞]
信用セヌ」「唯一人リ[形容詞]息子コ」「折テ[副詞]帆檣ガ行キシ」「帆檣ガ折レ
ルデ[働詞]アラフ」「其レハ甚ダ[副詞]奇異デアリシ」「戸ヲ過キツ、[分詞]」

「唯[副詞]五ツガソコニアリシ」「然シナガラ[接續詞]何チ汝ハ言爲セシカ
○何ニカラ副詞ガ氣付ケテ區別サレテハナラヌ乎●副詞ハ氣付ケテ
形容詞カラ區別サレテハナラヌ○彼等ハ時トシテ同シ形チ持ツ

○此場合ニ於テ、言ガ實名詞ヲ極メルナラハ、其レカ形容詞デアル、然
シナガラ、其レガ働詞、形容詞、或ハ副詞ヲ極メルナラバ、其レガ副詞デ
アル○箇様ニ

形容詞―「上ノ方ノ飛ビ、奇麗ナル習レ、上ノ規則、最初ノ菓物、サラ
ハ善キ人デアル、其ノ男、日々ノ新聞紙、

副詞―「上ノ方ニ飛ブ」「奇麗ニ生活スル」「上ニ見ヨ」「彼ガ最初チ話
セシ」「サラ―ガ能ク讀ム」「甚ダ奇麗ニ」「彼ガ日々行ク」

○共處ニ副詞及ビ形容詞ニ向ツテ區別ノ形チガアルキニ如何ナル注
意ガ目付ラレテハナラヌ乎●彼等ヲ置キ替ヘヌ○形容詞ハ實名
詞ト共ニ用ヒラレテハナラヌ、而シテ副詞ハ働詞或ハ形容詞ト共ニ
用ヒラレテハナラヌ○箇様ニ

「速カニ返答」今正尹○正シカラズ、soon及ビnowナル副詞ガ名詞ニ
結ビ付ラル、故ニ形容詞ヲ入レ替ルコトニ因テ正セ

○「速カナル返答」當時ノ正尹」

「鉛ハ鎖ヨリモ容易ク溶解サル、」此茶ハ非常ナル善キモノデアル」

○正シカラズ、easierナル形容詞ガis meltedナル働詞ニ結ビ付ラル、
而シテuncommonナル形容詞ガgoodナル形容詞ニ結ビ付ラル、故ニ
副詞ヲ入レ替ルコトニ因テ正セ○「鎖ヨリモ多ク容易ク溶解サル、」
「此茶ハ非常ニ善シアル」

○接續副詞ハ何ソデアル乎●接續副詞ハ文章ノ部分ヲ結ビ付ル所ノ
モノデアアル、「私ガ來ルマデ共處ニ止マレ」ノ如シ

○最モ通例ノ接續副ノアルモノヲ記セ
何故ニ、如何ニ、トキニ、所ニ、後トニ、前ニ、迄デ、

第六十二課

○形容詞ノ外カニ何ニガ比較サル、乎●一ツ及ビ二ツノ熟音ノ一二
ノ副詞ガ形容詞ノ如ク、比較級ニ向テミチ添ヘルコトニ因テ、而シテ最
上級ニ向テestヲ添ヘルコトニ因テ比較サル、○箇様ニ

定級	比較級	最上級	定級	比較級	最上級
遅ク	ヨリ遅ク	最モ遅ク	早ク	ヨリ早ク	最モ早ク
速カニ	ヨリ速カニ	最モ速カニ	屢々	ヨリ屢々	最モ屢々

○不規則ニ比較サル、所ノアル副詞ヲ記セ
次ノモノガ不規則ニ比較サル、

定級	比較級	最上級	定級	比較級	最上級
----	-----	-----	----	-----	-----

悪シク	ヨリ悪ク	最悪ク
善ク	ヨリ善ク	最善ク
値カ	ヨリ値カ	最値カ

多ク	ヨリ多ク	最モ多ク
遙カニ	ヨリ遙カニ	最モ遙カ
前キニ	ヨリ前キ	最モ前キ

○ *more* 及ビ *most* が如何ニ屢々用ヒラル、乎 ● *More* 及ビ *most* ハ屢々比較及ビ最上級ノ力ヲ彼等ニ與ヘル爲メニ形容詞及ビ副詞ノ前ニ用ヒラル、
「ヨリ美シキ」最モ美シク」ノ如シ

○ 如何ニ余輩ガ副詞ガ極メル所ノモノヲ見出シ得ル乎 ● *what* ヲ持タル問チ問フコトニ因テ ○ 「此ノ積高ハ難クアルカ然リ」甚ダ、甚ダ、何カ、答甚ダ、難ク ○ *Very* ハ略サレタル *hard* ナル形容詞ヲ極メル余輩ガ然ラハ、副詞ニ因テ極メラレタル詞ガ畧サレ得ルコトヲ見ル

○ 副詞ガ常ニアル格別ナル詞ヲ極メルコト無シニ用ヒラル、乎 ● 然リ而シテ其レハ然ルキニ獨立ニ用ヒラル、コト言ハル、

○ 獨立ニ用ヒラレタル副詞ノ例ヲ與ヘヨ

答ニ於テ *Yes* 及ビ *No*、禮拜ノ畢リニ於テ *amen* and so forth ナル言顯ニ於テ *forth* 特別ヲ導ク *first*, *secondly*, *thirdly*, 等ナリ

○ 副詞ニ向テ第十五規則ヲ述ベヨ

第十五規則 ○ 副詞ハ其レノ意味ヲ其レガ極メル所ノ詞或ハ數詞ニ關係スル或ハ文章ニ於テ關係ナク立ツ

○ 如何ニ余輩ガ副詞ヲ分解セバナラヌ乎 ● 副詞ヲ分解スル爲メニ其レガ比較サレ得ルナラハ、其レヲ比較セヨ而シテ其レノ階級ヲ顯ハセ、何ニ迄テ其レガ關係スル乎ヲ告ゲ、或ハ其レガ關係ナク用ヒラル、コトヲ顯ハセ、若シ接續副詞ナラハ、其レガ何ニテ結び付ル乎ヲ告ゲ而シテ其レガ何ニ迄テ關係スル乎ヲ告ゲ最後ニ第十五規則ヲ與ヘヨ

分解スル形式 「然リ余ガ場所ヲ見出スマデ余ガヨリ遙カニ行ンダアラフ」

○言語ノ部分ヲ擧ゲヨ○第七ハ何レデアアル乎●前置詞

○「ワシントンガプリンストンマデ進ミシ」ト余ガ言フキニ、如何ナル詞ガ進ムト及ビプリンストンノ間ノ關係ヲ顯ハス乎●「トガ「プリンストンカラ」デモナク、「プリンストンノ回リ」デモナク、「プリンストンヲ過テ」デモナク、然シナガラ、「プリンストンニ迄テ」ナルト云フ詞○伊太利文字ニ於テノ詞ガ各異ノ關係ヲ示メス而シテ前置詞ト名付ラル、

○前置詞ニ其レノ目的ニ向ツテ何ニチ持チ得ル乎

第一、名詞「室ノ廻リニ」ノ如シ

第二、代名詞「余輩ノ廻リニ」ノ如シ

第三、不定法「始ム可キ頃」ノ如シ

第四、分詞「始ムル頃ロニ」ノ如シ

○前置詞ハ何ンデアアル乎●前置詞ハ實名詞、不定法、或ハ分詞ガ文章ニ於テアル他ノ詞ニ持ツ所ノ關係ヲ顯ハス爲メニ用ヒラレタル詞デアアル

○附属ハ何ンデアアル乎●附属ハ前置詞、其レノ目的、及ビ終リノモノヲ極メル所ノ詞カラ成立ツ語句デアアル、譬ヘバ「クレシユスハ彼ノ限り」無キ富ニ向テ名高クサレシ」

○重モナル前置詞ノアルモノヲ記セ
通例ノ用ヒニ於テノ前置詞ハ即チ

於テ	於テ	拘ラズ	上ニ	就テ
船中ニ	前ニ	下タニ	越テ	方ニ
就テ	後ロニ	間タニ	過テ	方ニ
上ニ	下タニ	前ニ	間ニ	下タニ
横切テ	下タニ	外カニ	就テ	下タニ

後トニ	外カニ	除テ	就テ	迄デ
逆テ	外カニ	向テ	回リニ	迄デ
傳フテ	間ニ	カラ	外カニ	上ニ
中ニ	間ニ	於テ	以來	上ニ
中ニ	外カニ	迄デ	通シテ	逆テ
内ニ	外カニ	拘ラズ	通シテ	持テ
内ニ	因テ	之	迄デ	内ニ
回リニ	就テ	離レテ	迄デ	無シニ

第六十四課

○上ノ表ニ於テノ詞ガ常ニ前置詞デアル乎●否ラズ彼等ガ若シアル
關係ヲ示シ及ビ目的ヲ持ツキノミ前置詞デアル

○目的無シニ用ヒラル、キニ此等ノ詞ノ多クハ何ンデアル乎●副詞

○此ノ地球ノ上ニ見ヨ「above」ハ其レノ目的ニ向テ「earth」ヲ持ツ所デ前

置詞デアル「上」ニ見ヨ「此處」ニ其處ニ目的ガアラス而シテ「above」ハ副詞
デアル

○組立テタル關係ハ如何ニ示サル、乎●分解スルコトニ於テ一緒ニ取
ツレ、而シテ組立テ前置詞ト名付ラル、所ノ二ツノ前置詞ニ因テ「家
ノウチカラ」ノ如シ

○前置詞ハ一般ニ如何ニ立チナス乎●其レノ目的ノ前ニ○「pre-position」
ハ前ニ置クト云フコトヲ意味スル

○前置詞ハ常ニ其レノ目的ノ後トニ立チ爲ス乎●然リ、that 及ビ as ナ
ル關係代名詞ガ常ニ彼等ヲ支配スル所ノ前置詞ニ前キ立ツ「余輩ガ
内ニ住ムトコロ」ノ世界ハ吟味ノ世界デアル

○如何ニ余等ガ關係ノ前ノ詞ヲ見出シ得ル乎●前置詞ノ前ニ what ナ
持テ問チ問フコトニ因テ○箇様ニ「評議官ノ群集ノウチニ其處ニ智慧
ガアル」群集ノウチニ何カ」答「群集ノウチニアル」ニナル前置詞ガ

multitude ナル名詞及ビ^多ナル働詞ノ間ノ關係ヲ顯ハス

○關係ノ前ノ詞ガ常ニ略サル、乎^多次ノ文章ニ於テノ如ク、其レハアル「總テノ上ニ見ル所デ余ハ春ヲ選ム」

○前置詞ニ關係シタル第十六規則ヲ述ベヨ

第十六規則○前置詞ハ實名詞、不定法、或ハ分詞ガ文章ニ於テアル他ノ詞ガ持ツ所ノ關係ヲ顯ハス

分解スル形式○「トロイノ向フニ余ガ風評セシ島ガアル」

第六十五課

○話シノ部分ヲ舉ゲヨ○第八ノ部分ハ何ンデアル乎●接續詞

「然シナガラ若シ汝が行クナラハ彼及ビ余ガ殘ルデアロウ」○如何ナル詞ガ此文章ニ於テ結語トシテ用ヒラル、乎●Butハ前ニ行ク所ノモノト文章ヲ結合スル爲メニ用ヒラル、○Ifハ文章ノ部分ヲ結合スル「汝が行ク及ビ彼及ビ余ガ殘ルデアラフ」○And、he及ビ

「ヲ結ビ付ル

○結語トシテ如此ク用ヒラレタル詞ハ何ント名付ラル、乎●接續詞

○接續詞ハ何ンデアル乎●接續詞ハ詞、文章、或ハ文章ノ部分ヲ結合スル爲メニ用ヒラレタル詞デアアル

○重モナル接續詞ノアルモノヲ記セ
重モナル接續詞ハ次ギノ如クアル

誰モ	各々	アラヌ	外カ	然ル時
而ノ	加之ナラズ	然シナガラ	見テ	トハ雖モ
時ニ	外カニ	セヌ	故ニ	非レバ
故ニ	故ニ	拘ラズ	左様	尙ホ
并ニ	ナラバ	或ハ	ヨリ	故ニ
然シナガラ	セヌ爲メニ	ナラバ	「ノ爲メニ	トモ

○上ノ目表ニ於テノ詞ハ常ニ接續詞デアアル乎●否ラズ、彼等ノ種々が

亦々話レノ他ノ部分トシテ用ヒラル、○彼等ハ彼等ガ結合セラル
トキニニ接續詞デアル○次ノ例ヲ注意セヨ

「アレキサンドル及ビ并ニ接續詞」シーザーガ大ナル掠奪家デアリシ
而シテ兩人ガ形容代名詞不時ノ最後ニ出會シ「彼等ガ余輩ガ正サ
ニ過キシトコロノ關係代名詞其ノ代名形容詞家が妖現ハレテアル
コトヲ接續詞言フ」助ケヲ要スル如キ關係代名詞箇様ナルモノヲ
助ケヨ「余ガ聞ク如シ接續詞副或ル野蠻民ガ神トシテ接續詞太陽
ヲ拜スル」

○組立接續詞ハ何ンデアル乎●組立接續詞ハ分解スルヲニ於テ一緒
ニ取ラレテハナラヌ所ノニツ以上ノ結語カラ成立ッ所ノモノデア
ル○ *Inasmuch as* *as well as* *as* *as if* *as though* *for all* ガ組立テ接續
詞デアル

○接續詞ニ關係シタル第十七規則ヲ述ベヨ

第十七規則○接續詞ハ詞文章或ハ文章ノ部分ヲ結合スル
分解スル形式——然シナガラゼフェルソソ并ビニマワソソガビルギニ
ア人デアリシ

第六十六課

○言語ノ部分ヲ擧ゲヨ○第九而ノ最後ハ何ンデアル乎●間投詞
○間投詞ハ何ンデアル乎●間投詞ハ心ノアル強キ或ハ不意ノ感動ヲ
示ス爲メニ文法ノ關係カラ獨立ニ用ヒラレタル言デアル
○重モナル間投詞ヲ記セ
次ノモノガ彼等ガ顯ワス感情ニ順テ整列セラレタル重モナル間投
詞デアル

第一歡喜 Ah! aha! hey! heyday! hurrah! huzza!

第二悲哀 Ah! oh! alas! alack! lackaday! welladay!

第三驚駭 Ha! indeed! strange! what! hoity-toity! zounds!

第四、讚美 Bravo! well-dono!

第五、賤、嫌、嫌 Faugh! Hei fudge! pugh! Pshaw! tut!

第六、困倦 Heigh-ho!

第七、歡笑 Ha, ha, ha! (笑、音聲ノ似セ)

第八、驅逐スル願ヒ Aroynt! avant! begone! off! shoo!

第九、招呼、或ハ祝賀スル願ヒ O, hail! all-hail! welcome!

第十、出立ニ於テ人ノ安全ニ向テノ願ヒ Adieu! farewell! good-by!

第十一、氣付ニ向テノ願ヒ Ho! whatho! hallo! ahoy! lo! hark!

第十二、點止ニ向テノ願ヒ Hist! whist! hush! mum!

第十三、他人ヲ止メ或ハ遮ル願ヒ Avast! hold soft!

第十四、教諭ニ向テノ願ヒ Eh? hey?

○如何ナル點ニ因テ間投詞ガ一般ニ次ガル、乎(一)ナル歎息點ニ因
ニ○常ニ頭字デアラチバナラヌ所ノ○ハ其レノ後トニ點ヲ取ラヌ

○疑問ヲ含ム *Eh?* 及 *hey?* ハ問點ニ因テ次ガル、

○間投詞ハ他ノ詞ニ迄テ文法ノ關係ヲ持チ爲ス乎 ● 彼等ハ爲サヌ○

彼等ハ支配セヌ尙ホ支配サレヌ、他ノ詞ト一致セヌ尙ホ彼等ニ關係

セヌ○故ニ彼等ヲ分解スルニ於テ規則ガ要サレヌ

間投詞ヲ次シ實名詞ハ一般ニ獨立主格ニ於テ「嗚呼不幸ナル余輩ヨ」

ノ如シ

領格或ハ目的格ニ於テノ實名詞ガ次シナラバ、其レガ間投詞ニ因テ

支配サレヌ、然シナガラ略サレタルアル詞ニ因ツテ支配サル、「嗚呼

余レノ」委シク云ヘバ、「嗚呼余レノ困難ナル運ヨ」「嗚呼哀哉余」「哀シ

キ余ヲ怜ノ」ノ如シ

分解スル形式「ヒー汝ハ猶ホ床ニアルカ」

第六十七課

言語ノ種々ノ部分ノ下ニ與ヘラレタ所ノ文章論ノ十七規則ガ今

マ参考ノ便宜ニ向テ一緒ニ顯ハサル、

第一規則、| 働詞ノ主デアル所ノ實名詞ハ主格ニ於テアル

第二規則、| 獨立ニ用ヒラレタル實名詞ハ主格ニ於テアル

第三規則、| 持領根元、或ハ適當ヲ含ム、₁ニ因テ各異ノ人或ハ事物ヲ

顯ハス名詞ヲ極メ、ル所ノ實名詞ハ領格ニ於テアル

第四規則、| 働詞、或ハ前置詞ノ目的デアル所ノ實名詞ハ目的格ニ於

テアル

第五規則、| 時、向キ、廣カリ、分量、或ハ價直ヲ顯ハス極メル實名詞ハ屢

々前置詞無シニ目的格ニ於テ立ツ

第六規則、| 同ヲ人或ハ事物ヲ顯ハス他ノモノニ結合セラレタル一

ツノ實名詞ハ同シ格ニ於テアル

第七規則、| 目的ヲ持タヌ所ノ働詞ハ兩ツノ詞ガ同シ人或ハ事物ニ

關係スルトキニ其レノ前ノ通り同シ格ヲ後トニ取ル

第八規則、| 關係代名詞ハ人稱、及ビ數ニ於テ其レノ先行詞ト一致ス

ル

第九規則、| 冠詞ハ意味ヲ其レガ極メル所ノ詞ニ關係スル

第十規則、| 形容詞ハ意味ヲ其レガ極メ則チ限ル所ノ實名詞ニ關係

スル

第十一規則、| 働詞ハ人稱、及ビ數ニ於テ其レノ主ト一致スル

第十二規則、| 不定法ニ於テノ働詞ハ主トシテ用ヒラル、或ハアル

他ノ詞ノ意味ヲ極メル、或ハ文章ニ於テ獨立ニ立ツ

第十三規則、| 分詞ハ獨立ニ用ヒラル、或ハ意味ヲ彼等ガ極メ則チ

限ル所ノ實名詞ニ關係スル

第十四規則、| 分詞ニ因テ極メラル、₁ノ代リニ終リノモノヲ極メ

可ク爲サル、所ノ實名詞ハ領格ニ於テ置カル、

第十五規則、| 副詞ハ意味ヲ其レガ極メル所ノ詞、或ハ數詞ニ關係ス

ル或ハ文章ニ於テ獨立ニ立ツ

第十六規則、前置詞ハ實名詞不定法、或ハ分詞ガ文章ニ於テアル他ノ詞、或ハ數詞ニ持ツ所ノ關係ヲ顯ハス

第十七規則、接續詞ハ詞、文章或ハ文章ノ部分ヲ結合スル

第六十八課

○略詞ハ何ンデアル乎 ●略詞ハ意味ニ要用ナラヌト雖モ、組立ニ要用ナル詞ノ廢シデアル

○略詞ニ因テ廢サレタル詞ニ就テ何ニガ言ハル、乎 ●彼等ハ略サレテアルト言ハル、○彼等ハ顯ハサレタル詞ノ支配、一致、或ハ關係ヲ説キ明カス爲メニ分解スルトニ於テ滿タサレテハナラヌ

第六十九課

○文章ハ何ンデアル乎 ●文章ハ全キ意味ヲ爲ス所ノ箇様ナル詞ノ聚合デアル

○彼等ノ意味ニ就テ、如何ニ文章ガ分カタル、乎 ●四ツノ種類ニ迄テ説明、疑問、使令、及ヒ叫歎

○説明文章ハ或ル事物ヲ説キ明カス所ノモノテアル、「風ガ吹ク」ノ如シ

○疑問文章ハ何ンデアル乎 ●疑問文章ハ疑問ヲ問フ所ノモノデアル「風ガ吹キナスカ」ノ如シ

○使令文章ハ何ンデアル乎 ●使令文章ハ命令、諫メ、願ヒ、或ハ許ルシテ顯シ、而シテ指令法ニ於テノ働詞ヲ含ム所ノモノデアル、「風ヲ吹カシメヨ」ノ如シ

○叫歎文章ハ何ンデアル乎 ●叫歎文章ハアルト叫フ所ノモノデア
ル、「如何ニ風ガ吹ク」ノ如シ

○何ニテ持テ使令ノ文章ハ屢々始メ爲ス乎 ●Letナル働詞ヲ持テ

○叫歎ノ文章ハ何ニテ持テ屢々始メ爲ス乎 ●whatナル代名形容詞、或ハHowナル副詞ヲ持テ、「如何ナル恐ロシキ見セ物ヨ」如何ニ明ラカニ

星ガアルツ」ノ如シ

第七十課

- 文章ノ文法上ノ主ハ何ンデアル乎 ●文法ノ主ハアルコトが言ハル、所ノ其レヲ顯ハス重モナル詞デアアル
- 何ニ因テ文法ノ主ガ時トシテ極メラル、乎 ●其レノ意味ヲ極メ則チ説キ明カス所ノ詞或ハアル増加スル事ヲ導ク所ノ詞ニ因テ
- 文章ノ論理上ノ主ハ何ニカラ成立チ爲ス乎 ●論理上ノ主ハ文法上ノ主及ビ其レノ極メ詞カラ成立ツ
- 文章ノ屬部ハ何ンデアル乎 ●文章ノ屬部ハ論理上ノ主ガ取り除カル、後トコ殘ル所ノモノデアアル
- 此等ノ釋義ノ例ヲ與ヘヨ
- 「七ツノ金屬ガ古人ニマデ知ラレシ」Metals ハ文法上ノ主デアアル、
- Seren ハ其レヲ極メル、而シテ其レ故ニ seven metals ガ論理上ノ主デア

- ル、○「古人ニマデ知ラレシ」ハ屬部デアアル
- アル文章ガ如何ニ分カタレ得ル乎 ●各々其レノ自己ノ主及ビ屬部ヲ持ツ、均シキ列ノ二ツ以上ノ部分ニ迄テ○此ノ如キ部分が文節ト名付ラル、
- 組立及ビ單ナル文章ノ間ノ異ヒハ何ンデアル乎 ●二ツ或ハヨリ多クノ文節ニマデ分ケラレ得ル所ノ文章ハ組立文章ト名付ラル、○左様ニ分タレ能ハヌ所ノ其等ハ單ナル文章ト名付ラル、
- 「總テガ塵埃ノモノデアアル」○此文章ハ一ツノ思考ヲ顯ス而シテ二ツ或ハヨリ多クノ文節ニ迄テ分タレ得ヌ ○其レ故ニ單ナル文章デア
- ル ○余輩ガ接續詞ヲ持チ或ハ無シニ其レニ迄テ他ノ文節ヲ結合スルナラバ、余輩ガ文章ヲ組立タルモノトナス ○箇様ニ「總テカ塵埃ノモノデアアル」而シテ總テガ再ビ塵埃ニマデ變ズル」
- 働詞ハ時トシテ組立タル文章ノ文節ノ一ツ或ハヨリ多クノ屬部ニ

於テ略サル、「正シキ」が最モ良キ政治學デアル而シテ程ヨキ「ハ最ヨキ醫術デアル

○彼等ノ文節が同シ種類ノモノデアルキニ如何ニ余輩ガ組立タル文章ヲ區別シ爲ス乎●文節ガ總テ説明デアルトキニ、余輩ガ文章ヲ組立説明文章ト名付ク、總テ疑問デアルトキハ、組立疑問文章ト名付ク、總テ使令デアルトキハ、組立使令文章ト名付ク、總テ叫歎デアルトキハ組立叫歎文章ト名付ク

○余輩ガ其レノ文節ガ各異ノ種類ノモノデアル所ノ文章ヲ何コト名付ケ爲ス乎●不同ノ文節ヲ持タル組立文章

○「汝ノ蒸餅ヲ水ノ上ニ投ケヨ何トナレハ汝ハ數日ノ後トニ其レヲ見出スデアラフ故ニ」○此レハ不同ノ文節ヲ持タル組立タル文章デア
ル○最初ノ文節ハ使令文章デア
ル第二ノ文節ハ説明文章デア
ル形式「如何ニ徐々ニ其處ノ小キ船ガ大洋ニ航スルツ」

○單ナル叫歎文章○文法上ノ主ハ船デア
ル○論理上ノ主ハ其處ノ小
キ船デア
ル○屬部ハ「如何ニ徐カニ大洋ヲ航スル」デア
ル

「正シクアレ而シテ恐ル、ナ」

○組立使令文章○第一ノ文節ハ *be just* デアル其レノ文法上ノ及ビ論理上ノ主ハ略サレタル *thou* デアル其レノ屬部ハ *be just* デアル○第二ノ文節ハ *and* ナル接續詞ニ因テ第一ノ文節ト結ビ付ラレタル *fear not* デアル其レノ文法上ノ及ビ論理上ノ主ハ略サレタル *thou* デアル其レノ屬部ハ *fear not* デアル

「明日ニ就テ汝自ラヲ誇ルナ如何ントナレハ汝ガ日ガ何チ生スルカヲ知ラヌ故ニ」

○不同ノ文節ヲ持タル組立文章○ *boast not thyself of to-morrow.* ナル第一ノ文節ハ使令文章デア
ル○其レノ文法上ノ及ビ論理上ノ主ハ略サレタル *thou* デアル其レノ屬部ハ *boast not thyself of to-morrow.* デアル

○ *for thou knowest* 等ナル第二ノ文節ハ説明文章デアル而シテ *for* ナル接續詞ニ因テ第一ノ文節ト結ビ付ラル、○其レノ文法上ノ、及ヒ論理上ノ主ハ *thou* デアル其レノ屬部ハ *knowest not what a day may bring forth.* デアル

第七十一課

○如何ナル文章ノミガ組立テアル乎●各々ガ其レノ自己ノ主及ヒ屬部ヲ持チテ、二ツ或ハヨリ多クノ文節ニ迄テ分タレ得ル通リコノゴトキモノガ

○組立タル主或ハ組立タル屬部ノ導キハ必ズ組立タル文章ヲ爲シナス乎●其レハ爲サヌ○文章ハ組立タル主或ハ組立タル屬部ヲ含ミ得ル而シテ尙ホ單ナル者デアリ得ル

○單ナル文章ガ組立タル主ヲ含ミ得ル、委シク云ハバ、接續詞ニ因テ結合セラレ或ハ結合セラレヌ二ツ或ハヨリ多クノ文法ノ主ヲ含ミ得

ル、時及ヒ潮ハ人ニ向テ待タヌ」ノ如シ

○單ナル文章ガ組立タル屬部ヲ含ミ得ル、委シク云ハバ、同等ノ二ツ或ハヨリ多クノ部分ヲ持ツ所ノモノ「時ガ都府ヲ毀ツ而シテ帝國ヲ倒ス」ノ如シ

○單ナル文章ガ組立タル主、並ニ組立タル屬部ヲ含ミ得ル、「アダム及イバガ神ニ背キ而シテ樂土ヲ失ヒシ」ノ如シ

○幾許ノ重モナル部分ヲ各々ノ文章ガ持ツ乎●各々ノ單ナル文章及ヒ組立タル文章ノ各々ノ文節ハ少ナシモ二ツノ重モナル部分ヲ持ツ文法上ノ主及ヒ重モナル働詞

「夏ノ太陽ハ烈シク燒ケル」○ *sum* ナル文法上ノ主及ヒ *burns* ナル重モナル働詞ガ二ツノ重モナル部分デアル

○何時第三ノ重モナル部分が見ハレナス乎●第一、重モナル働詞ガ目的ヲ持ツナラバ此目的ガ第三ノ重モナル部分ヲ組立ル○「夏ノ太陽

「草ヲ燒ク」○其處ニ三ツノ重モナル部分ガアル *sun*, *burns*, 及 *grass* ナル目的

第二重モナル働詞ガ目的ヲ持タヌ、然シナガラ主格ニ於テ實名詞ニ因テ次ガル、ナラハ属部ノ主格ト名付ラレタル此ノ實名詞ガ第三ノ重モナル部分ヲ形ヲ造ル

「太陽ハ熱ノ大ナル根元デアル」○此處ニ三ツノ重モナル部分ガアル — *sun*, *is*, 及 *source* ナル属部主格

第三重モナル働詞ガ目的ヲ持タヌ、然シナガラ文法上ノ主ニ属シタル形容詞ニ因テ次ガル、ナラハ属部ノ形容詞ト名付ラレタル此ノ形容詞ガ第三ノ重モナル部分ヲ形ヲ造ル

「夏ノ太陽ハ熱シアル」○此處ニ三ツノ重モナル部分ガアル — *sun*, *is*, 及 *hot* ナル属部形容詞
形式 — 「ロンドン及ビパリヌハ歐羅巴ノ最モ大ナル都府デアル」

○單ナル説明ノ文章○重モナル部分ハ *London* 及 *Paris* ナル文法上ノ主 *are* ナル重モナル働詞及 *cities* ナル属部ノ主格デアル

「アレキサンドル及ビシーザーハ不時ノ最後ヲ持チ而シテナポレオンノ運命ハ甚タヨリ良クアラザリシ」

○組立タル説明文章○第一ノ文節ハ *Alexander* デアル○第二ノ文節ハ *and Napoleon's fate was not much better.* デアル

○第一ノ文節ノ重モナル部分ハ *Alexander* 及 *Cesar* ナル文法上ノ主 *had* ナル重モナル働詞及 *end* ナル其レノ目的デアル○第二ノ文節ノ重モナル部分ハ *fate* ナル文法上ノ主 *was* ナル重モナル働詞及 *better* ナル属部ノ形容詞デアル

第七十二課

○文章ノ重モナル部分ハ何ニニ因テ極メラレ得ル乎●單ナル詞、附屬、及ビ句ニ因テ

○附屬ハ何ンデアル乎(第八十九丁ヲ見ヨ)○句ハ何レデアル乎●句ハ
動詞ヲ含タル、然シナガテ十分ノ思考ヲ顯サヌ文章ノ小分ケデアル
○句ノ七ツノ重モナル種類ヲ舉ゲヨ

實名句、關係句、分詞句、副詞句、原由句、比較句、及ビ假定句

○實名句ハ何ンデアル乎●實名句ハ名詞ノ部分ヲ爲ス所ノモノデア
ル、余輩ハ總テ死ナチバナヲヌコトノ事實ハスベテ心ノ中ニ絶ヘズ
保タレテアルデアラフ」ノ如シ

○關係句ハ何ンデアル乎●關係句ハ顯サレ或ハ零サレタル關係代名
詞ヲ含ム所ノモノデアアル、モセスハ余輩ガ經典ノ中ニ就テ讀ムトコ
ロノ最モ温順ナル人デアアル」ノ如シ

○分詞句ハ何ンデアル乎●分詞句ハ分詞ヲ含ム所ノモノデアアル、圖ガ
能ク撰バル、キニ話シチカザル」ノ如シ

○副詞句ハ何ンデアル乎●副詞句ハ通例時、場處、或ハ仕方ニ顯ス副詞
ノ部分ヲ爲ス所ノモノデアアル、コロンプスが亞米利加ヲ發見セシキ
ニ其レガ土人ニヨツテ住マハレシ」ノ如シ

○原由句ハ何ンデアル乎●原由句ハ企則ヲ目的其レニ因テアル、ガ
アリ或ハ爲サル、所ノ企則ヲ目的ヲ言ヒ出ス所ノモノデアアル、童兒
ガ學ビ而シテ彼等ノ心ヲ善クスル爲メニ學校ニマテ行ク」ノ如シ

○比較句ハ何ンデアル乎●比較句ハ比較サレタルニツノ語ノ終リノ
モノニ因テ次ガレタル as 或ハ than ヲ含ム所ノモノデアアル、德ハ其
レガ驚クベク通り左様ニ稀レニアル」

○假定句ハ何ンデアル乎●假定句ハ假リ定メ或ハ出來ベキトシテ考
ヒヲレタルアル、チ顯ス所ノモノデアアル、若シ余ハ汝ガデアリシナ
ラバ余ハ試ミルデアラフ」ノ如シ

○呼ビ掛ケノ言ヒ出シハ何ンデアル乎●呼ビ掛ケノ言ヒ出シハアル
格別ナル詞ヲ極メル、無シニ、間投詞ノ如ク文章ノ中ニ投ケ入レラ

レタル其レノ極メ詞ヲ以テ、獨立ニ用ヒラレタル實名詞デアアル、「平和ノ神ヨ尙ホ余輩ノ上ニ飄颻セヨ」ノ如シ
形式「其レハ最純粹ナル精神ヲ保ツトコロノ最モ美シキ形ヲ造リデアツタ」

○單ナル説明文章○重モナル部分ハ、*is*ナル文法上ノ主 *is*ナル重モナル働詞及ビ *from* ナル屬部ノ主格デアアル○ *is*ナル重モナル働詞ハ *not*ナル副詞ニ因テ極メラル、

○ *form*ナル屬部ノ主格ハ *the*ナル冠詞 *fairest*ナル形容詞及ビ *that holds the purest soul*ナル關係句ニ因テ極メラル、○此句ノ重モナル部分ハ *that*ナル文法上ノ主 *holds*ナル重モナル働詞及ビ *soul*ナル其レノ目的其レハ *the*ナル冠詞及ビ *purest*ナル形容詞ニ因テ極メラル、所ノ *soul*ナル其レノ目的デアアル

「嗚呼疑フ人ヨ慰ミチ見出スタメニ汝ハ何處ニ行キ得ルカ」

○單ナル疑問文章○重モナル部分ハ *you*ナル文法上ノ主及ビ *can go*ナル重モナル働詞デアアル

○ *can go*ナル重モナル働詞ハ *where*ナル副詞及ビ *to find comfort*ナル不定法、及ビ *comfort*ナル其レノ目的カヲ成立タル *to find comfort*ナル原由句ニ因テ極メラル、○ *Doubter*ハ呼ビ掛ケノ言ヒ出シデアアル「余輩ハデモスゼンスノ能辨ハシセロノ其レヨリモヨリ多ク深情デアリシヲ知ル」

○單ナル説明文章○重モナル部分ハ *we*ナル文法上ノ主及ビ *know*ナル重モナル働詞デアアル

○ *know*ナル重モナル働詞ハ *that*ナル接續詞ニ因テ其レト結び付ラレタル *that the eloquence* 等ナル實名句ニ因テ極メラル、○此句ノ重モナル部分ハ *eloquence* ナル文法上ノ主 *was*ナル重モナル働詞、及ビ *impassioned*ナル屬部ノ形容詞デアアル

○ eloquence ナル文法上ノ主、the ナル冠詞及 of Demosthenes ナル附属ニ因テ極メラル、

○ impassioned ナル根部ノ形容詞、more ナル副詞ニ因テ極メラル、而シテ more ハ than ナル接続詞ニ因テ其レト結ビ付ラレタル than that of Cicero ナル比較句ニ因テ其レ自カラ極メラル、○此ノ比較句ノ重モナル部分ハ that ナル文法上ノ主 (Cicero ノ附属ニ因テ極メラレタル) 及ビ器サレタル was ナル重モナル働詞デアラル

第七十三課

○ 文章ノ根元ニ因テ何ニガ目指サル、乎 ● 文章ノ根元ハ重モナル思ヒテ顯ス所ノ部分デアラル、醫師ガ一致セヌキニ誰レガ決スルデアラフカ「Who shall decide カ根元デアラル」

○ 引文則チ引カレタル文章ニ因テ何ニガ意味サル、乎 ● 或ル記者或ハ話者カラ取ラレタル、或ハ取ラル、トシテ顯ハサレタル詞或ハ句」

○ 文章ヲ解剖スルコトニ因テ何ニガ意味サル、乎 ● 其レテ其レノ單ナル部分ニ迄テ解シコト

○ 文章ヲ解剖スルコトニ於テ何ニガ爲サレテバナラヌ乎 ● 文章ヲ解剖スルコトニ於テ其レノ種類ヲ顯ハセ、其レノ重モナル部分ヲ撰ベ、如何ナル詞、附属、或ハ句ニ因テ各々ガ極メラル、カチ話セ、而シテ何ニ、因テ此等ノ極メ詞ガ彼等自ラ極メラル、カチ話セ、彼等ヲ組立ル所ノ詞ニ迄テ附属ヲ解キツ、及ビ彼等ノ重モナル部分及ビ極メ詞ニ迄テ句ヲ解キツ、彼等自ラ極メラル、カチ話セ ○ 文章ガ組立テアルナラハ正サニ記載サレタル如ク順々ニ各々ノ文節ヲ取扱ヘ
解剖ノ形式「「キビシキ寒氣ハ若シ話サル、ナラハ死ニ於テ結果スルトコロノ眠ニ向テ好ミテ起コス」

○ 單ナル説明文章 ○ 重モナル部分ハ cold ナル文法上ノ主、produces ナル重モナル働詞、及ビ desire ナル目的デアラル

○ *old* ナル文法上ノ主ハ *intense* ナル形容詞ニ因テ極メラル、
 ○ *desire* ナル目的ハカナル冠詞而シテ *for* ナル前置詞及ビ *sleep* ナル其
 レノ目的カラ成立タル *for sleep* ナル附属ニ因テ極メラル、○ *sleep*
 ナル目的ハ *which, if indulged in, results in death.* ナル関係句ニ因テ極
 メラル、

○ 此句ノ重モナル部分ハ *which* ナル文法上ノ主及ビ *results* ナル重モナ
 ル働詞デアル○ *which* ナル主ハ *if* ナル接続詞及ビ *indulged* (*in* ナル副
 詞ニ因テ極メラレタル) ナル分詞カラ成立タル *if indulged in* ナル假
 定句ニ因テ極メラル、○ *result* ナル重モナル働詞ハ *in* ナル前置詞、
 及ビ *death* ナル其レノ目的カラ出來ル *in death* ナル附属ニ因テ極メ
 ラル、

「若レ旅人が信實ヲ話スナラバ女ハ常ニナサケブカシアルトト野
 搭ノ國ニ於テトハ雖モ彼女ハ彼女ノ助ケヲ要スルトコロノソレ等

ニマデ温順デ而シテ信切チアル」

○ 組立タル説明文章○ 最初ノ文節ハ *if travellers tell the truth, woman is
 always humane* デアル○ 第二ノ文節ハ *even in savage lands she is gentle
 and kind to those who need her aid.* デアラ

○ 最初ノ文節ノ重モナル部分ハ *woman,* ナル文法上ノ主 *is* ナル重モ
 ナル働詞 (*always* ナル副詞ニ因テ極メラレタル) 及ビ *humane* ナル属部
 形容詞デアル

○ 最初ノ文節ノ根元ハ *if travellers tell the truth.* ナル假定句ニ因テ極メ
 ラル、○ 此句ノ重モナル部分ハ *travellers* ナル文法上ノ主 *tell* ナル重
 モナル働詞及ビ *the* ナル冠詞ニ因テ極メラレタル *truth* ナル目的
 デアル

第二ノ文節ノ重モナル部分ハ *she* ナル文法上ノ主 *is* ナル重モナル
 働詞及ビ *gentle* 及ビ *kind* ナル属部形容詞デアル○ 属部形容詞ハ

ナル前置詞、及ビ those ナル其レノ目的其レハ自ラ who need her aid ナル係關句ニ因テ極メラル、所ノ (those) ナル其レノ目的カラ出來タル to those ナル附屬ニ因テ極メラル、○此句ノ重モナル部分ハ who ナル文法上ノ主、need ナル重モナル働詞、及ビ其レハ her ナル領格ニ因テ極メラル、所ノ aid ナル目的デアル

○第二ノ文節ノ根元ハ in ナル前置詞、及ビ其レハ savage ナル形容詞ニ因テ極メラル、所ノ lands ナル其レノ目的カラ出來ル in savage lands ナル附屬ニ因テ極メラル、而シテ此附屬ハ even ナル副詞ニ因テ自ラ極メラル、

「ビオンガ汝自カラ知レト言フベク慣レシ」

○單ナル説明文章○重モナル部分ハ Bion ナル文法上ノ主、及ビ used ナル重モナル働詞デアル

○ used ナル重モナル働詞ハ to say ナル不定法其レハ自ラ know thyself ナル引キ出サレタル文章ニ因テ極メラル、know thyself ナル引カレタル文章ハ單ナル使令法デアル○其レノ重モナル部分ハ 畧サレタル thou ナ章文法上ノ主、know ナル重モナル働詞、及ビ thyself ナル目的デアル

第七十四課

誤リノ文章論

最モ通例ノ文法ノ誤リノ例ガ今ニ正誤ニ向テ出サル、○手本ニ從テ各々ノ變化ニ向テノ道理ヲ與ヘヨ○文章ヲ正スノ後チニ彼等ヲ解剖シ、及ビ分解セヨ○都合ヨキ長サノ課ニ分ケヨ
第一、働詞ノ主デアリ或ハ關係ナク用ヒラル、所ノ實名詞ヲ目的格ニ於テ置キ爲スナ

○手本「汝ハ余ニヨリ尙ホ速カニ走り得ルカ」正サレタル「汝ハ余ガヨリ尙速カニ走りウルカ」ハ主格ナル「」ニ變ゼラレネバナラヌ、如何ン

トナレバ其レハ略サレタル *can form* ノ主デアアル故ナリ

○正セ—「彼ヲ及ビ余ヲ明日出立スベクアル」誰レガ此書物ヲ落セシカ」
 「余ヲ無シ然シナガラ彼女ヲ—誰ヲ汝ハ到着シタト考ヒナスカ、—通
 常勉強セシトコロノ彼ヲ仕遂ゲシ、—僅ガ余輩ヲ如ク左様ニ幸ヒ
 デアツタカ、—シヤンガ彼ヲ或ハ余ヲヨリヨリ丈ケ高シアル、—聞ク
 ベキ耳ヲ持ツトコロノ彼等ヲ彼等ヲシテ聞カシメヨ、—余輩ガ恐レ
 チ持タヌ汝ヲ 輩ノ先導者デアルトコロデ、—誰レガ彼レヲ其レノ
 アルコトコソイテ考ヒタデアラフコカ、
 第二、持領、根元、或ハ適當ヲ含ム所ノ極メル實名詞ヲ領格ニ於テ置テ
 ○切點ガ適當ニ用ヒラル、—ヲ見ヨ(第二十七丁ノ上ニ顯ハサル、
 如ル)

○手本—「チャーレスノ支配」**「人ノ生命」**正サレタル「チャーレスノ支配」
「人ノ生命」

○正セ—「シヨセフノ寺院」**「女ノ踏」**「マシユースノ詩」**「四月ノ滯留」**「處
 女ノ衣裳」**「ラフスノ父」**「アラユル神聖ノ寺」**「三時ノ旅」**「マルチオ子
 スノ寶玉」**「タスチニスノ書物」**「小兒ノ書物」**「其レハ誰ノ帽子デア
 ルカ」**其レハ彼ノデ彼ノデ又(ナシ)汝ノデアラヌ

第三、其處ニ各異ノ極メル實名詞ガアルトキニ彼等ハ總テ領格ニ於
 テアル○彼等ガ各異ノ名詞ヲ極メルナラバ、各々ニ領格ノ徴ヲ與ヘ
 ヨ○然シナガラ彼等ガ同シ名詞ヲ極メルナラバ、其レヲ終リノモノ
 ニノミ與ヘヨ

○手本—「余ガアンドレウス及ビストツダルドノラテソノ文法書而ソ
 ウオアセストル及ビウエプストルノ字書ヲ買フタ正サレタル」*I have*
bought Andrews and Stoddard's Latin Grammar, and Worcester's and Webster's
Dictionary. ○領格ノ徴ハ *Andrews* ノ後トニ廢セラレテハナラヌ、如何
 メトナレバ唯一ツノ文法書ガ話サル、故ナリ、其レガ *Worcester*、ニ添

ヘラレホハナラヌ、如何ントナレハニツノ字書が話サル、故ナリ
○正セー「ヘンリー及ビゼオシノ島ハ川ノ相對シタル方ニ於テアル、
アマム及ビイブノ最モ良キ息子ノ名ハ何ンデアリシカ、
ホワイト
及ヒレースノ店ノ間ノ距離ハ何ンデアアルカ

第四、○働詞、或ハ前置詞ノ目的ヲ目的格ニ於テ置ケ

○手本「ハ」誰レガ余ガ信シウルカ「正サレタル」誰レチ余ガ信シウルカ」
Who、目的格ナル whomニ變セラレネハナラヌ、如何トナレハ其レ
ハ can trust ナル働詞ノ目的デアアル故ナリ

○正セー「世界ガ最モ驚クトコロノ彼レハ常ニ驚ニ就テ最モ價シテア
ラヌ」「彼ガ汝及余ガ後トニ坐セシ」誰レガライニ彼ノ持チ物ヲ殘シ
ナセレカ」「誰デモ汝ガ氣付テアル可ク送ルカヲ話セ」「汝ハ汝ガ見シ
トチ誰ガ言ヒナセシカ」「汝及ビ余ガ間ニ余ガ汝ノ朋友ヲ疑フ」「幾許
ノハローノ就テ汝ハ讀マカ」

第五、移リ行キ働詞ノ目的ヲ支配スル爲メニ前置詞ヲ導キ爲スナ

○手本「余ノ言顯シニ就テ考ヘヨ正サレタル」Consider my offer. Consider
ハ移リ行キ働詞デアアル所デ前置詞ガ廢サレテハナラヌ

○正セー余ハ尙多クニ向テ願ナサヌ、
汝ハ前ノ一週間ニブロードワ
イチ下リテ逍遙スルコトニ就テ思出シナスカ、
種々ノ人が種々ノ
目的ノ後トニ從フ、
彼女ガ或ル仲入ニ就テ免サヌデアラフ、
余輩
ハ余輩ガ從フトコロノ彼ノ僕デアアル、
其處ニ其レニ於テ世界ガ囓
弄スルトコロノ多ク良キ人がアル、
汝チ善クナスベク余ノ好ミニ
就テ疑ヒナスナ

第六、offer allow 等ノ通りコノゴトキ働詞ノ受ケ方ヲ用ユルコトニ於
テ正レキ實名詞ヲ主ト爲ス可ク儘カニアル

○手本「三度ビシーザーガ王位ニ捧ゲラレシ」正サレタル「三度ビ王位
ガレーザーニ捧ゲラレシ Crownハ捧ゲラレタルモノデアアル所デ主

ト爲サレテアヲ子ハナラヌ

○正セー彼ガ自由ノ通行ニ免サレシ、余等ガ時トシテ奇ナル物語ニ話サレシ、番頭ガ美シキ給金ニ免サレシ、アルノルドガ一萬ポンド及ヒ船持ノ位ニ約束サレシ、彼等ガ留守ノ暇チ免サレヌ

第七名詞ト附加格ニ於テノ代名詞ハ其レノ名詞ノ通り同格ニ於テ置カル、トチ見ヨ目的無シニ働詞チ次ク實名詞ハ働詞ノ前ノ實名詞ノ通り同シ格ニ於テ置カル、トチ見ヨ

○手本ー余等ガ其レハシリメアニ於テ左様ニ多クノ善チ爲セシトコロノフロレンス、ナイーチンガルチ見ルベシ行キシ「正サレタル」：We went to see Florence Nightingale, her who did so much good in the Crimea, She ハ目的格ニ於テアルトノ her ニ變ゼラレネバノラヌ、如何トナレバ其レハ Florence Nightingale. ナル目的格ト同格ニ於テアル故ナリ

○正セー其處ニ其レハアフリカノ内部チ搜索セシトコロノ彼チナルリヒングストンヨリモ僅カノ勇猛ナル旅客ガアル、若シ余ガ彼チアリシナラバ余ガヨリ多クノ尊重チ以テ働クデアラフ、汝ハ其レハ左様ニ多クノ難船シタル人チ助ケシトコロノ彼レガナルグレーヌダルリングノ傳チ讀ンダカ、余輩ハ其レガ彼レチアリシコトチ恐レシ、汝ハ彼女ガアル可ク其レチ假リ定メナセシカ、余輩ノ誰レモ彼レガ誰レデアアル可ク顯ハレルデアラフカラ推測シ得サリシ

ー其レハ汝ガ見シ余ノ兄弟デアリシ余チアラサリシ
第八代名詞ハ實名詞其レノ代リニ其レガ立ッ所ノ(實名詞)ト數及ビ性ニ於テ一致スルトチ見ヨ

手本ー汝ガ火箸チ折タ故ニ汝ハ其レチ終繕シ得子ハナラヌ

正サレタルー汝ハ火箸チ折タ故ニ汝ハ彼ラチ修繕シ得子ハナラヌ

○トハ複數ノ them ニ變ゼラレテハナラヌ、如何ントナレバ其レノ代リニ其レガ立ッ所ノ實名詞ナル *longs* ガ複數デアアル故ナリ

正セー多シノ若キ男ガ其レテ彼ノ母ガ彼ヲテ教ヘシトコロノ讀モ
モノヲ忘レル、一各ノ人が彼ヲガ有罪者ト澄セラル、マデ無罪者ト
考ヘラル、デアラフ、一此ノ牝牛ハ彼レノ路ヲ失フタト見ユル、一誰
レモ明日彼ヲニ何が出來得ル乎ヲ知ラヌ、一此ノ折ニ於テ各ノ謠フ人
ガ彼等ノ最モ善キ者ヲ爲セシ、一余ハ余ノ目鏡ヲ失フク、余ニ其レヲ
見出シ助ケヨ、一汝ハ汝ノ灰ヲ以テ何ヲ爲シナスカ、一余ガ其ヲ賣ル、

第九、働詞ハ人稱及ビ數ニ於テ其レノ主ト一致スルヲ見ヨ

○手本—The 恒星ノ距離ハ信シ難シアル正サレタル：The distance of the
fixed stars incredible. ○Are ハ單數ノ第三人稱ニ於テ distance ナル其レ
ノ主ト一致スル爲メニ is ニ變セラレネバナラヌ

○正セー新聞ハ何デアアルカ、一盪ト混和サレタル灰ハ鐵ノ管ニ向テ強
キ粘物ヲナス、一汝ハ變事ニ顯ハレテアラザリシカ、一能シ余ガ余自
ラ言フ彼ハ此主意ニ於テ觸レ肯セサリシ、一甲比丹エツチガ彼ノ全

キ昆巴尼隊ヲ持テ到着シタ、一深キ主意ニ於ケル余リ多クノ學問ハ
心ヲ勞ラス、一此ノ如キ路ニ於ケル三日ノ旅ハ或人ヲ勞ラスベク十
分デアアル、一各ノ教師ガ文法ノ上ニ彼等自身ノ説ヲ持ツ、一彼レガ何
ヲ撰ブカチ彼レガ言ヒ得ル、一余輩ノ公般ノ官吏ノ各ガ彼ヲノ寵人
ヲ持ツ、一燕麥ハ何ニ向テ賣リツ、アルカ、一カドラスハ歴史ノ中ニ
記載サル、トコロノ最モ貴キ王ノ一人デアアル、一天氣ノ顯象ハ氣付
ニツイテ能ク價シテアル、一多クノ商人ガ違約無キコトノ欠ケカラ
成功スルコトヲ任損シタ

第十、言出サレタル或ハ畧サレタル and ニ因テ結び付ラレタル實名
詞ハ一ツニ取ラレテアルフト言ハル、
一ツニ取ラレタルニツ以上ノ單數ノ實名詞ト一致シタル代名詞、或
ハ働詞ガ複數ニ於テ置カレテバナラヌ
手本—ミルトン及ビピロンノ詩ガ其レノ作法ニ於テ全ク異ナツテ

アヤ正サレヌル : Milton's and Byron's poetry are entirely different in their style ○一ツニ取ラレタルニツノ單數ノ實名詞ナル略サレタル poetry (Miltons)ノ後トニ及ビ言出サレタル poetryト複數ニ於テ一致スル爲メニ Is が are ニ變セラレネハナラヌ而シテ is ハ their ニ變セラレテハナラヌ正セー若シ共レガ決シテ實地ノ事柄ニ向ケラレヌナラハ學問及ビ能辨ハ何ノ用ヒノモノデアルカ、一カマソヌコ賤ニ責メハ餘リ屢々天材ノ運デアツタ、一此ノ如キ生分ニマデ位及富ハ何ノ利益デアルカ、一己レ自ラニ克ツコト及ビ他ノ者ヲ助ケルコトハ耶蘇宗者ノ上ニ命セラル、一ビルキル及ビホメルノ戰詩ハ曾テ其レ自ラ世界ノ感驚ヲ專ラニシタ、一純粹ナルコトノ望ミ及ビ覺エガ余ヲ慰ムルコトヲ止メク

第十一 and ニ因テ結ビ付ラレタル實名詞が同シ人或ハ事物ヲ顯スナラハ單數ニ於テ彼等ト一致シタル働詞及ビ代名詞ヲ置ケ隔ノ上ノ内料及ビ外料彼ノ務メヲ畢クノ如シ正セー汝ノ明友及ビ從兄弟ガ何處ニアル乎○余ハ今日彼等ヲ見ナソダ望ミ及ビ望ミ而已ガ余ノ助ケデアル、一神教ハ及ビ神教ノ外何ニモ余輩ヲ慰ムヘシ適當シテアラヌ

第十二實名詞が別ツ々ニ取ラル、○第一 and ニ因テ結ビ付ラレ、或ハ結ビ付ラレヌ each every 或ハ no ニ因テ先立タル、トキニ○第二 and not if not as well as but or 或ハ nor ニ因テ結ビ付ラル、トキニ別ツ々ニ取ラレタルニツ以上ノ單數ノ實名詞ト一致スル代名詞、或ハ働詞ハ單數ニ於テ置カレネハナラヌ
手本—ゼームス並ビニ彼ノ兄弟ガコノ道ヲ追フコトニヨツテ彼ラ自ラヲ害シタ正サレタル : James, as well as his brother, has injured himself by pursuing this course ○別々ニ取ラレタル James 及ビ brother ト單數ニ於テ一致スル爲メニ Have injured has injured ニ變セラレテハ

ナラヌ而ノ themselves ハ himself ニ變セラレネハナラヌ

○正セ「鉛尙ホ(ヌ)鐵ガ黄金ノ如ク左様ニ重クアラヌ、佛蘭西ノミナ
ラス尙ホ英吉利ガ彼自ラチ此ノ政度チ行フク、シーザー並ビニボ
ンペーガ刺客ノ手コ於テ彼等ノ死ニ出會シ、副船主或ハ甲比丹ノ
ドチラモ彼等ノ自算チ失フク、彼等自ラ殺セシコトノツレハワ
ルデアリシヨナサンデアラザリシ、毎日及ビ毎時ガ彼等ノ務チ
モツ、各ノ人各ノ小兒ガ彼等ノ仲間ニマデ善事チナスベシ適當シ
テアル、一ノ語モ一ノ歎聲モ聞カレザリシ、質素或ハ寧ロ愚鈍ガ
彼ノ面ノ上ニ印サル、

第十三、or 或ハ nor ニ因テ結ビ付ラレタル實名詞ノ一ツガ複數デ
アルナラハ働詞、或ハ代名詞ハ複數デアラチハナラヌ、英倫尙ホ佛蘭
西モ満足サレヌ」ノ如シ

○正セ「名譽モ尙富モ其レノ持主チシテ幸ヒニセシメ能ハヌ、余ノ
眼或ハ此活字ガ甚ダ惡クアル小刀モ尙ホ缺モ其レノ場所ニ於テア
ラヌ、馬或ハ牛ガ圍圍ニ於テ有ツタ

第十四、關係代名詞トシテ that チ用ヘヨ、who 或ハ which、チ用ユルナ
第一、人並ニ事物ガ關係サル、トキヨ昔シノグリースガ生セシトコ
ロノ工人及名作ニ於テ見ヨノ如シ

第二、who ガ先立デアレトキニ彼ノ兄弟チ恨ムトコロノ誰レガ神チ
愛シ得ル乎」ノ如シ

第三、最上級ノ後トニ、ハンニハルハ羅馬ガ會テ持チシトコロノ死ス
ベキ敵デアリシノ如シ

第四、same、all 而ノ very、及ビ no ナル形容詞ノ後トニ、彼ハ彼ガ常コ
アリシトコロノ同シ人デアル」ノ如シ

○正セ「道ノ上ニアリシトコロノアラユル車及ビ御者ガ奪ハレシ、
テールハ余等ガ史記ニ就イテ讀ムトコロノ最モ正シキ忠士ノ一人

デアリシ、一輝ヤシトコロノアラユルモノガ黄金デアラヌ感スル心
ヲ持ツトコロノ誰レガ動かサレスシテ此話ニマデ聴キ得ルカ、一余
輩ガ望ムベキ權利ヲ持ツトコロノ最モ僅ガ汝ノ同意デアル、一呼吸
スルトコロノ一ノ公侯ハ余ヨリ幸デアラヌ

第十五、其ノ句ヲ持タル關係代名詞ヲ直チニ其レノ先立チノ後トニ
置ケ、法ヲ破ルトコロノ其レハ罰ヲ直打スルノ如シ、法ヲ破ルトコロ
ノ其レハ罰ヲ直打スルコアラズ

○正セ、一最モ花美ナル羽ヲモツトコロノ鳥ハ常ニ最モ愛ラシキサヘ
ヅル鳥デアラヌ、一彼等自ラ支配シ能ハストコロノ其レ等ハ他ノモ
ノチ支配シ能ハヌ、一彼等ノ馬ヲ撰フコトニ於テ大ナル注意ヲ用ユ
ルトコロノ多クガ彼等ノ朋友ヲ撰フコトニ於テ氣付ケナクアル、一
學ヒタル隠語ニ就テ充チテアルトコロノ話シハ人民ニ因テ甚タ好
マレテアラヌ

第十六、唯單數ノ名詞ト *this* 及ビ *that* ヲ用ヘヨ、唯複數ト *these* 及ビ
those ヲ用ヘヨ ○決メテ *this here* 或ハ *these'ere*, *that there those'ere* ト言フナ

○正セ、一人ノ此ノ種類ハ危キ知己デアル、一此此處ノ剪刀ハ誰レノテ
アルカ、一靴ノ此種類ハ十分善クアル、一此此處ノ牆壁ハ倒レネバナ
ラヌ、一此石礮水チアゲヨ、一余ガ聞ク此ノ新聞ハ何デアルカ

第十七、比較級、及ビ最上級ハ其他比較サレテハナラヌ、尙ホ *more* 及ビ
most ナル副詞ガ彼等ト用ヒラレチバナラヌ

○正セ、一「ヨリ最モ遙カノ道路」「ヨリヨリ上ノ場所」「ヨリヨリ難キ模様
ニ於テ」「余等ノ神教最モ最モ正シキ宗派」「ヨリヨリ奇麗ナル書法」
「甚ダヨリヨリ善キ模様」

第十八、形容詞其レノ意味ガ比較ノ思ヒチ含ム所ノ(形容詞)ヲ比較シ
爲スナ、或ハ *more*, *most*, *less*, *least*, *so* 或ハ階級ノアル副詞ヲ彼等ト共
ニ用ヒ爲スナ

○正セ「最モ重ナル美シキ」サヤウニ一般ノ欺キ「寫眞畫ノ僅カ十分」
「ヨリ多シ撰フベキ役目」最モ眞ナル定メ「サヤウニ不定ノ數」ヨリ
多シ十分ノ進ミ「最モ自由ナル定律」最上ナル愚

第十九、二ツノ物体ヲ比較スルコトニ於テ比較級ヲ用ヒヨ、一度ニ一ツ
ヨリ多シヲ比較スルコトニ於テ最上級ヲ用ヒヨ

○手本「二人ノ兄弟ノ最モ穎敏ナルモノガドレガアルカ」正サレタ
ル「二人ノ兄弟ノヨリ穎敏ナルモノハドレデアアルカ」比較級ナル *Smarter*
ニ變セラレテバナラヌ、如何ントナレバ、唯々二ツノ物体ガ比較サル
、故ナリ

○正セ「ファツム或ハクビトハ何レカ最モ大ナルモノデアアルカ」麻毛
及ビ綿ハ總テ大切ナル産物デアアル「重モニ終リノモノガ」ゼオシハ
余ノ二人ノ兄弟ノ最モ若キモノデアアル「太陽或ハ満月ハ何レガ汝ニ
マデ最モ大キク見ユルカ」

第二十、比較級ノ後トニ其レガ前ノモノヲ含ムナラバ、比較サル、言
ノ終リノモノト共ニ *other* ヲ用ヒヨ、而シテ其時ノミ用ヒヨ

最上級ノ後トニ終リノ言ト共ニ *other* モ尙ホ *any* モ用ユルナ
○箇様ニ「アマゾンハアル他ノ川ヨリモヨリ長シアル如何ントナレ
ハアマゾンハ川デアアル故ナリ」○然シナガラ「アマゾンハ歐羅巴ニ於
テ或ル川ヨリヨリ長シアル *any other river* ニアラズ、如何ントナレバ
the Amazon ハ歐羅巴ノ川デアアラヌ故ナリ」○最上級ノ後トニ左様ニ
「アマゾンハアラユル川ノ最モ長キモノデアアル *of all other rivers*、或
ハ *any river* ト云フニアラズ

○正セ「水星ハ行星ノアルモノヨリ太陽ニマデヨリ近シアル、」サ
ムソ
ンハ吾輩ガ嘗テ就テ聞タトコロノ或人ノ最モ強キモノデアリシ、
「倫動ハ歐羅巴ニ於テアル都ノ最モ大ナルモノデアアル、」經典ノ部
分ハ現在シタル或ル書ヨリモ尙舊クアル、「鯨ハアル他ノ魚ノ最モ

大ナルモノデアアル、鐵道ハアル内部ノ改革ヨリモ速カニ國ヲ發達スル

第二十一、免ルニテ含ム所ノ mayノ代リニカチ含ムトコノ canヲ用ヒナスナ

canヲ直說法ノ過去ノ助働詞トシテ haveノ代リニ用ヒナスナ、或ハ wasヲ大過去ニ於テ hadノ代リニ用ヒナスナ

had haveヲ大過去ニ於テ hadノ代リ、hadn't oughtヲ ought notノ代リ、had as lief, had ratherヲ would as lief, would ratherノ代リ、I'm a mind

ヲ I have a mindノ代リ admit或ハ ain'tヲ are notノ代リ、moughtn'tヲ might notノ代リ等如此キ働詞ノ不正ノ形ヲ避ケヨ

正セ、「余ガ汝ヲ行カシムルデアラフ汝ハ次ノ一週ニ出立シ得ル」
「余ハ坐シ能フカ」此ノ幸ナル日ガ行テアル」「イリスハ昔シノセルナッ種ノ幹カラ生シテアル」「顯像ガ消失サレシ」彼等ガ既ニ到着

サル、「余ガ行クベキ心デアアル然シナガラ總テノ後チニ余ガサヤウニ好ンデ止マツタリシ」汝ガ不熟ノ果物ヲ喰フヘシ属サナンダ」「ブリナールガ僅カヨリ遅ク有タリシナラバナボレオンガワートルロ
「ノ戦ニ勝ツタデアラフ」汝ハ謬デアラヌカ」

第二十二、forナル前置詞ガ直チニ不定法ノ前ニ用ヒラレテハナラヌ
○彼ハ學校ニ入ルコト向テ強ク務メツ、アル」○forヲ廢スルコトニ因テ正セ

○正セ、「レセロガ彼ノ教育ヲ仕送ゲル爲メニアセンヌニマデ彼ノ息子ヲ送リシ」多クガ發明ヲ爲スベシ爲メニ彼等ノ命ヲ危シシタ」「十全ナル性質ヲ教育スベキ爲メニ務メヨ如何トナレハ此ヲ持ッコトハ富ニ於テ廻ルベシヨリモヨリ良クアル故ニ

第二十三、oナル徴候ハ不定法ノ其他カラ副詞ニ因テ分ケラレテハナラヌ○「信實ニ此ノ性質チアラハヌコトハ出來可カラズニアアル」

faithfully to represent this scene 或 *to represent this scene faithfully* 言

○正セ「或ル川ノ岸ニ近シ静カニ坐ルベキソレハ如何ニ快クアルヨ」
「汝ノ師ノ尊敬ヲ常ニ直打スベク試ミヨ」「速カニ讀ムコトハ一般ニ
全クサヤウニ速カニ忘ルベクアル

第二十四、働キカケノ仕方ニ於テ *hear*, *make* 及ビ *bid* (*order* ヲ意味ス)
兩ツノ仕方ニ於テ *be*、不定法、分詞、或ハ組立タル時ニ於テアラヌキ、
dare (*venture* ヲ意味ス) 及ビ働キカケノ仕方ニ於テ行クトキニ *see* 及
feel ナル働詞ノ後トニ不定法ノ徴シナルヲ廢セヨ ○「雷鳴スル
ソレヲ聞ケ」○彼等ニ坐ルコトヲ命セヨ

○正セ「ワレントンガ速カニ敵ヲシテポストンヲ退ク可ラシメシ」
「彼レガ來ルベク而シテ生命ノ水ニツイテ自由ニ飲ムベク總テノ人
ヲ命スル」「余輩ガ不幸ノ人ヲ救フコトヲ請ハル、」「ヘルナドットガ戰
ヲ危クスベク肯ゼザリシ」「正サニ走ルベキ此等ノ兒童ヲ見ヨ」「此等

ノ兒童ガ小山ノ下タニ走り見ラレシ」「汝ハ汝ヲ刺スベク刺絡針ヲ感
ワナスカ」

第二十五、*of* ナル前置詞ヲ移リ行キ働詞ノ分詞及ビ其レノ目的ノ間
ニ用ヒナスナ ○肖像ヲ達テル「*of*」ニ因テト言ヘ肖像ノ建テルコトニ
ヨツテト言フナ *the*, *an* 或ハ *a*, *this* 或ハ *that* ガ分詞ノ前ニ導カル、
it ニ終リノモノガ名詞トナル而シテ *of* ニ因テ次ガル、「肖像ノ此ノ建
ル「*of*」ノ如シ

○正セ「彼等カラ不熟ノ新兵ノ數ユル「*of*」而シテ善キ士卒ノナスコトハ
容易キ仕事デアラヌ」「過チヲ犯スコトハソレノ防クコトニ向テ「
ノ許シガアラヌ」「此ノ次キノ各ノ不都合ナル風俗ニ於テ其處ニ何ナ
ル意味ガアルカ」「アダムガ林檎ヲ食フコトニ向テ罰セラレザリシ
然レナガラ彼ノ造物者ノ背クコトニ向テ「其處ニ唯與ヒラ
幣ノ外ニ施物ノ他ノ形ガアル」

第二十六分詞ヲ極メル實名詞ハ領格ニ於テアルヲ見ヨ「住マハレツ、月ノ思想ヲ誰レガ最初ニ合點セシカ」ノ如シ

○正セ「誰レカ曾テ謀叛ヲ企メテタル肥タル人ニ就イテ聞キシカ」
「多クノ野番ノ民ハ洪水ニヨツテ世界ノ淹ハレタコトノ言傳ヘチモツ」此ノ如キ同盟ニ英吉利ノ結合シタコトノ考ハ不都合アル「其處ニ儲カコ余リ多クヨリモ余リ僅カチ小兒ノ學フコトノ多クノ危サガアル

第二十七打チ消シテ顯ワス「於テ同ヲ句、或ハ文節ノ中ニニツノ打チ消シ語ヲ用ヒ爲スナ、余ハナンニモナシナサザリシノ如シ」○打チ消シ語ノ一ツヲ變ジ、或ハ廢セヨ、余ハアルモノヲナシナサザリシ或ハ余ガナンニモチナサザリシ

○正セ「余等ハ決シテ此ノ如キナンニモチ見ザリシ」誰ニモナンニモチ言ナスナ」「フランス語ハ西班牙語ノ如クサヤウニ音調ヨキ尙

ホ立派ナル國語デアラス」「汝ハ一ノ仕方ニ於テ免ルシヲ得能ハヌカ」「今日爲サレ能フトコロノモノヲ明日マテ決シテ延引シナスナ」

第二十八、アル言ハアル前置詞ニ因テ次ガレチバナラヌ○箇様ニ罪スル、當ハメラレタル、到着スル、與ヘル、信任スル、同上、異タル、嫌ヒ、ヒ、隨ガハレタル、免ス、伴ナハレタル、同上、生活アル物体ニ、生活ナキ物体

○正セ「ソクレートハ若キ人チ惡シクスルヲ以テ非難サレシ」誰レニマデ汝ハ汝ノ惠ミヲ與フルカチ氣付テアル「余等ハ誰レニ於テ余等ハ信任シタカチ知ル」「タチノコシカミハ全ク狗ノ耳ニマデ異ナル」
「佞人カラ汝自ラ離ルベク試ミヨ」シント、ポールハ次キニ如何ナル場處ニ到着シナセシカ「王ハ大ナル扈從ヲ以テ伴ナハレシ」
「法外ハ恐ルベキ引續キニヨツテ伴ナハレシ」
「ソレハ説明ニヨツテ伴ハレタル美シキ出板デアル」
「罪ハ一般ニ恨チ以テ次ガル、」
「カニユート

ハ彼ノ近臣ヲ以テ伴ナハレシ

第七十五課

頭字ニ向テノ規則

頭字ヲ持テ始メヨ

第一、各々ノ文章、及ビ詩句ノ各々ノ行ヲ

第二、固有名詞、固有形容詞、而シテ職、及ビ譽レノ名稱ヲ

第三、活潑ノ仕方ニ於テ人ニ像ラレタル普通名詞ヲ「其時職ガ彼ノ軍旗ヲ飄ヘス」ノ如シ

第四、神ノ名號、而シテ彼ノ名ノ代リニ立ツ *Thou* 及ビ *He* ナル人代名詞ヲ

第五、*That* 或ハアル他ノ接續詞ニ因テ導カレヌ引キ擧ケラレタル文章ノ最初ノ詞ヲ「トムソンガ言フ成功ハ惡人ヲシテ正シクセシム」ノ如シ

第六、書物、及ビ章篇ノ頭ノ名稱ニ於テ各々ノ名詞、形容詞、及ビ働詞ヲ

第七、章篇、條目、或ハ章ノ重モナル主ヲ顯ハス所ノ詞ヲ

第八、ハナル代名詞、及ビ〇ナル間投詞ヲ

第九、大ナル出來、或ハ紀年、著ルシキ書付ケ、及ビ非常ノ自然ノ顯像ヲ顯ス詞ヲ、創造、北光、ノ如シ

第十、詞ノ代リニ立ツ文字ヲ郵便局ノ如シ

第七十六課

句讀論

句讀論ハ意味ガ容易ク理解サレ得ルヲ爲メニ、點ニ因テ書カレタル國語ヲ分ツノ術デアアル
句讀論ハ次ギノ通りデアアル

段落點

問點

叫點

重點

半重點

句點

横線點

註點

(一)

銜點

(二)

○段落點ハ各々ノ説明及ビ使令ノ文章、及ビ各々ノ縮メラレタル詞ノ後トニ置カレテハナラヌ、*N. Y.*ハ *New York*ノ代リニ立ツノ如シ

○問點ハ各々ノ問ヒノ文章、文節、及ビ句ノ後ト并ニ *eh* 及ビ *hey* ナル間投詞ノ後トニ置カレテハナラヌ、空氣ハ重サチモツカノ如シ

○叫點ハ各々ノ叫歎ノ文章、文節、句、及ビ言出シノ後トニ并ニ *O*、*ah*、*hey* ノ外、各々ノ間投詞ノ後トニ置カレテハナラヌ、嗚呼如何ニ悲シキツノ如シ

○重點、半重點、及ビ句點ハ文章ノ部分ノ間ニ用ヒラル。而シテ分チノ種々ノ等級ヲ顯ハス—重點ハ最モ大ナリ、句點ハ最モ小ナリ、重點第一第二等ニ因テ導カレタル格段ナルヲノ算ヘ舉ゲノ前并ニ *thus*、*these following*、*as follows*ニ因テ話サレタル引文ノ前ニ置カル、

○半重點ハ一般ニ甚ダ短クアラザレハ組立タル文章ノ文節ノ間、物体ノ名カ唯々與ヘラル、其格段ナルモノ、算ヘ舉ゲノ前及ビ例ヲ導ク *us*ノ前ニ置カル、

○句點ハ密ニ連結サル、所ノ部分ノ間ニ導カル、其ニ、文章ノ意味ニ固有ナラザル附属及ビ句ヲ分ツ○其レハ亦附属或ハ形容詞ニ因テ種メラレタル同格ニ於テノ名詞ヲ分ツ爲メニ用ヒラル、

○句點ハ并ニ組立タル文章ノ甚ダ短キ文節ノ間ニ置カル、并ニ働詞ヲ以テ畢リ、或ハ句點ニ因テ分ケラル、所ノ部分カラ成立ッ論理ノ主ノ後ト并ニ均シキモノヲ導ク *is*ノ前ニ置カル、

○句點ハ亦話シノ同シ部分デアル所ノ二ツ以上ノ續キニ於テ各々ノ詞ノ後ト或ハ詞ガ對ニ於テ取ラル、ナラハ各々ノ對ノ後トニ置カル、

○横線點ハ組立ニ於テノ欠ク感働ニ於テノ移リ、不意ノ止メ、疑ヒ、或ハ結合セザル探リ返シヲ顯ス爲メニ用ヒラル、

- 註點ハ密ニ結合セラル、所ノ部分ノ間ニ導カル、キニ重ナル言ヒ顯ハレテ説キ明カシ、或ハ極メル所ノ詞ヲ圍ム爲メニ用ヒラル、
- 縫點ハ重モニ正シ、目付、或ハ不正ニ廢サレタル詞ヲ圍ム爲メニ引キ舉ゲラレタル章句ニ於テ用ヒラル、
- 切點(一)ハ名詞ノ領格、或ハ一字、或ハ數字ノ廢却ヲ顯ハス人ノ越シテノ如シ
- 接點(一)ハ組立タル言ノ部分ヲ結合シ、或ハ行ノ終リニ於テ分ケラレタル詞ノ熟音ヲ結合ス
- 引文點(一)ハ引キ舉ゲラレタル詞、或ハ會話ニ於テ用ヒラルトシテ顯ハサレタル詞ヲ圍ム

カッケン
ボス氏 英文典直譯終

明治二十年十二月三十日版權免許

同 二十年十二月

日出版

正價金十五錢

新潟縣平民

譯者 齋藤八郎

東京麴町區元平川町貳番地

東京府平民

出版人 松成伊三郎

東京京橋區南傳馬町三丁目六番地

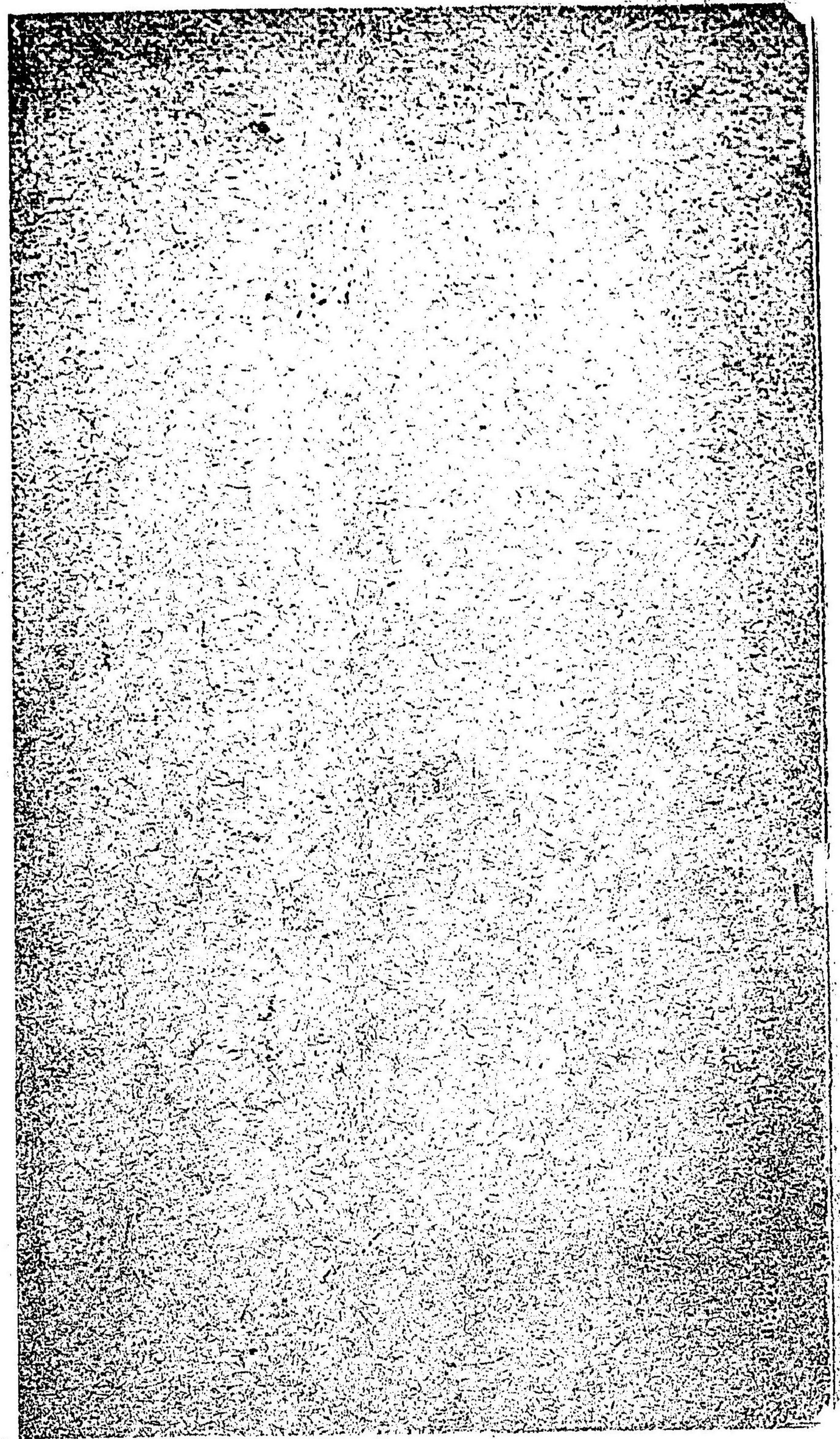


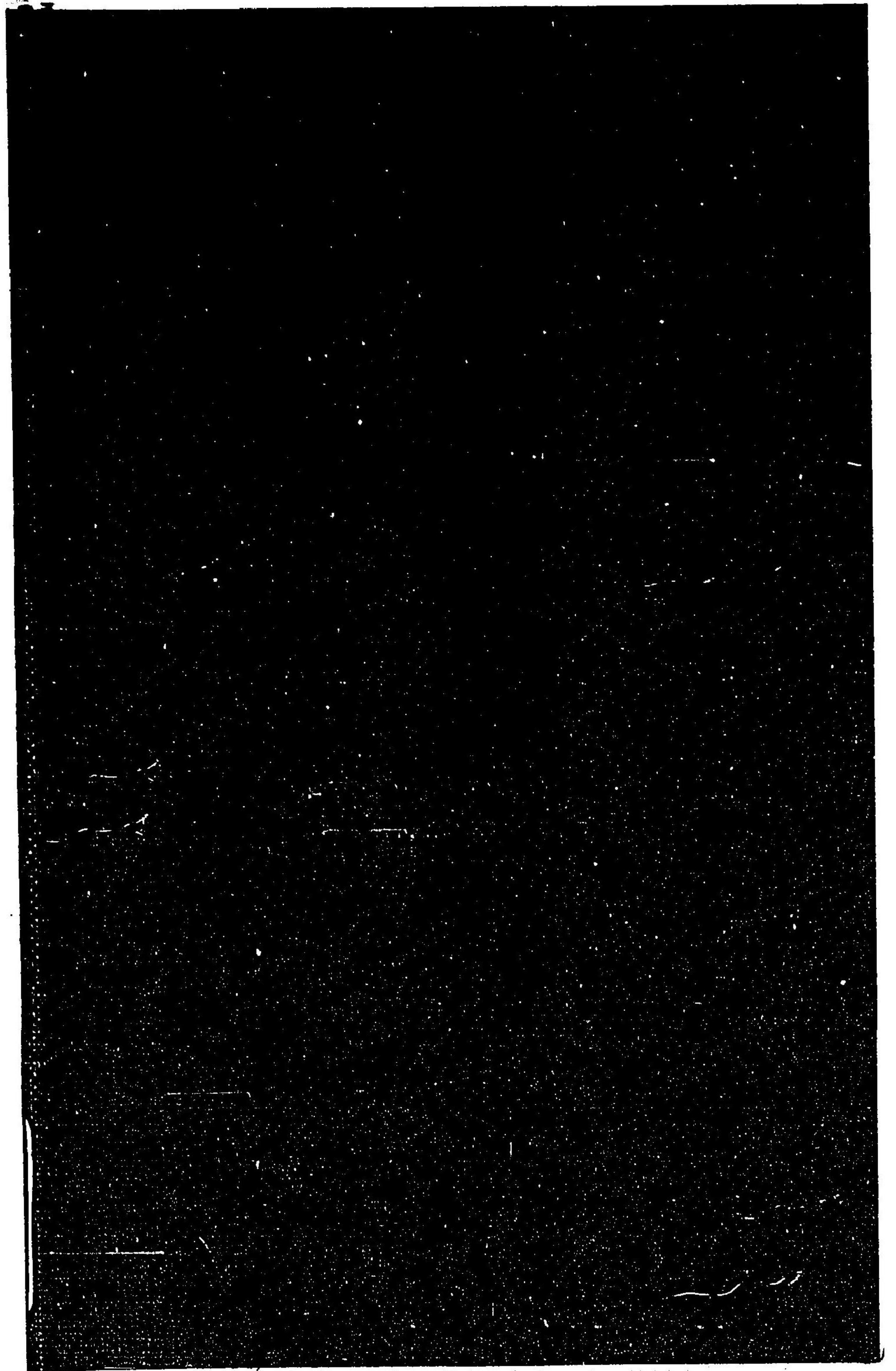
發兌書肆

松成堂

東京々橋區南傳馬町三丁目六番地







特27

509

クワッケンボス 英文典直訳

国立国会図書館

083229-000-1

特27-509

英文典直訳 (クワッケンボス氏)

齊藤 八郎 / 訳

M20

DAH-0717

